

平成27年10月入学  
平成28年4月入学・進学（第1回・第2回）

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
博士課程

学生募集要項

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, DENTISTRY AND  
PHARMACEUTICAL SCIENCES

OKAYAMA UNIVERSITY

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

**鹿田キャンパス**

連絡先 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ

所在地 〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

電話 (医学系) 大学院担当 TEL086-235-7986 (直通)

(歯学系) 歯学部担当 TEL086-235-6627 (直通)

**津島キャンパス**

連絡先 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等薬学系事務室

所在地 〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1番1号

電話 (薬学系) 教務学生担当 TEL086-251-7923 (直通)

<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/>

## 《〈 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） 〉》

大学院医歯薬学総合研究科博士課程では、次のような学生を求めています。

- ◆ 医学・歯学・薬学の創造的研究，学際的研究，国際的研究を志す人
- ◆ 高度先端医療，全人的医療を志す人
- ◆ 社会人として活躍しながら研究を志す人

### 目 次

I	募集人員	1 ページ
II	入試日程	1 ページ
III	一般入試	2 ページ
IV	外国人留学生特別入試	8 ページ
V	進学者選考	16 ページ
VI	出願資格 事前審査手続要領	21 ページ
VII	研究科案内	23 ページ
VIII	人材養成目的と教育目標	28 ページ
IX	教員組織と研究内容	30 ページ

#### 入学試験に関する照会先

##### 鹿田キャンパス

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ  
(医学系) 大学院担当 TEL086-235-7986  
(歯学系) 歯学部担当 TEL086-235-6627

##### 津島キャンパス

〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1番1号  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等薬学系事務室  
(薬学系) 教務学生担当 TEL086-251-7923

募集要項等の郵送を希望する場合は、「医歯薬学総合研究科（博士課程）学生募集要項請求」とし、返信用封筒（角形2号の封筒に郵便切手250円分を貼付したもの）を同封して、上記あてに請求してください。（速達での送付を希望する場合は、上記郵便切手250円分に加えて、速達料金280円分の郵便切手を追加してください。）

## I 募集人員

専攻	平成28年4月入学 募集人員(注1)	平成27年10月入学 [外国人留学生特別入試のみ] 募集人員(注2)
生体制御科学専攻	25人	若干人
病態制御科学専攻	62人	
機能再生・再建科学専攻	28人	
社会環境生命科学専攻	13人	

(注1) 募集人員には、外国人留学生特別入試、進学者選考及びARTプログラム特別入試での若干人を含みます。

(注2) 平成27年10月入学の募集は、外国人留学生特別入試のみ実施します。

## II 入試日程

	平成27年10月入学 [外国人留学生特別入試のみ] 平成28年4月入学 (第1回入試)	平成28年4月入学 (第2回入試)
出願期間	平成27年7月21日(火) ～ 平成27年7月28日(火)	平成27年12月21日(月) ～ 平成28年1月5日(火)
試験日	一般入試 及び 進学者選考 平成27年8月18日(火)	一般入試 及び 進学者選考 平成28年1月19日(火)
	外国人留学生特別入試 平成27年8月17日(月) 及び 平成27年8月18日(火)	外国人留学生特別入試 平成28年1月18日(月) 及び 平成28年1月19日(火)
合格者発表	平成27年9月25日(金)	平成28年3月1日(火)

## Ⅲ 一般入試

### 1 出願資格

次のいずれかに該当する者 又は平成28年3月までに該当する見込みの者

- (1) 大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学の課程を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位（学位に付記する専攻分野の名称が医学、歯学又は獣医学に限る。）を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学に限る。）を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学に限る。）を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学に限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 修士課程を修了した者等文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）
- (7) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する一貫制博士課程に限る。）に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- (8) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者
- (9) 大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程に4年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

(注1) 出願資格(2)に該当する見込みの者とは、次のいずれかの者です。

- ① 独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行する学位授与申請受理証明書を提出できる者
- ② 学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者

(注2) 出願資格(6)の「文部科学大臣の指定した者」とは、次の各号のいずれかに該当する者です。

- ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学及び歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
- ③-1 修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者
- ③-2 前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で大学院において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- ④ 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの及び獣医学を履修する課程を除く）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(注3) 出願資格(6)の③-2・(6)の④・(7)・(8)及び(9)に該当する入学志願者は、出願の前に個別の入学資格審査を行います。

(注4) 出願資格(9)の「これに準ずる者として文部科学大臣が定める者」とは、次の各号のいずれかに

該当する者です。

- ① 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ③ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(注5) 日本国籍を有しない者で、入学後、在留資格を「留学」とする予定の者については、「IV 外国人留学生特別入試」（8ページ記載）により出願してください。

(注6) 岡山大学大学院博士前期課程、修士課程又は専門職学位課程を平成28年3月に修了見込みの方については、「V 進学者選考」（16ページ記載）により出願してください。

## 2 出願資格における個別の入学資格審査

1の「出願資格」(6)の③-2・(6)の④・(7)・(8)及び(9)による入学志願者は、出願の前に、入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、21ページの「VI 出願資格 事前審査手続要領」を参照の上、期限までに必要書類を提出してください。

## 3 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

	平成28年4月入学（第1回入試）	平成28年4月入学（第2回入試）
相談締切期限	平成27年6月19日（金）	平成27年11月20日（金）
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書及び障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて相談してください。	
請求先・相談先	「4 出願手続の（3）出願書類提出先」に請求・相談してください。	

## 4 出願手続

### (1) 出願方法

入学志願者は、注意事項に留意し、(5)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に下記の提出先へ持参又は出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

### (2) 出願期間

平成28年4月入学（第1回入試）	平成28年4月入学（第2回入試）
平成27年7月21日（火）～ 平成27年7月28日（火） <b>必着</b>	平成27年12月21日（月）～ 平成28年1月5日（火） <b>必着</b>

持参する場合の受付時間は、各日とも9時00分から17時00分までとします。

郵送の場合も、**期限内に必着**としますので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。出願期間中に一部の書類を提出し、出願期間後に不足する書類を追加提出することは認められません。

なお、封筒表面に「医歯薬学総合研究科（博士課程）入学願書在中」と朱書きし、**発送時に到着日時を必ず確認**しておいてください。

## (3) 出願書類提出先

提出先は、志望する教育研究分野により異なります。30ページの「IX教員組織と研究内容」を参照してください。

<p><b>鹿田キャンパス</b> 〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ (医学系) 大学院担当 (管理棟1階) TEL:086-235-7986 (歯学系) 歯学部担当 (歯学部棟2階) TEL:086-235-6627</p> <p><b>津島キャンパス</b> 〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1番1号 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等薬学系事務室 (薬学系) 教務学生担当 (薬学部1号館) TEL:086-251-7923</p>
--

## (4) 出願上の注意

- ① 出願を希望する方は、あらかじめ志望する教育研究分野の指導教授と面談し、入学後の研究・教育及び修了後の進路について相談してください。
- ② 出願書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。
- ③ 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ④ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ⑤ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ⑥ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消される場合がありますので注意してください。
- ⑦ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

## (5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
①志願票 ・受験票・写真票	本研究科所定の用紙に入学志願者本人が必要事項を記入してください。
②写真	縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真を「写真票」の所定欄にのりで貼り付けてください。貼る前に、写真の裏面に志望の教育研究分野名と氏名を記入してください。
③入学検定料	30,000円 (振込手数料が別に必要です。) 入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局を含む。)窓口(ATMは利用できません。)からの振込によって納入し、必ず「入学検定料振込証明書」を志願票の所定欄にのりで貼り付けてください。 [入学検定料の返還について] 次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済の入学検定料は返還しません。 ア 入学検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合
④卒業(見込)証明書	出身大学長(学部長)が作成したものを提出してください。(卒業証書や学位記ではありません。) 修士課程又は専門職大学院を修了(見込)の方は、修士課程又は専門職大学院の修了(見込)証明書も併せて提出してください。 ただし、本学医学部医学科、歯学部及び薬学部薬学科出身者は不要です。
⑤成績証明書	出身大学長(学部長)が作成したものを提出してください。 修士課程又は専門職大学院を修了(見込)の方は、修士課程又は専門職大学院の成績証明書も併せて提出してください。 ただし、本学医学部医学科、歯学部及び薬学部薬学科出身者は不要です。

⑥受験票等送付用封筒	長型3号の封筒に、受験票の送付先(入学志願者本人の住所・氏名及び郵便番号)を明記し、372円分の切手を貼り付けてください。
⑦宛名票シール	合格通知及び入学手続書類等の送付用 合格者発表日及び入学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入してください。
⑧受験許可書・入学承諾書	本研究科所定の様式によらず、任意の様式でも可。 出願時に、官公署・企業・病院等に勤務し、入学後もその職にある方は提出が必要です。(勤務先が変わる場合は不要)

【上記の他、必要によりその他の証明書等の提出を求めることがあります。】

## (6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名(漢字・カナ)の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を入学料免除等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

## 5 受験票の交付

(1) 受験票は、下記のとおり本人あて発送します。

なお、到着予定日までに到着しない場合には、「4出願手続の(3)出願書類提出先」に連絡してください。

	平成28年4月入学(第1回入試)	平成28年4月入学(第2回入試)
送付時期	平成27年8月4日(火)頃	平成28年1月12日(火)頃
到着予定日	平成27年8月6日(木)	平成28年1月14日(木)

(2) 受験票は、試験当日及び入学手続並びに入試情報開示請求の際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

## 6 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び出願書類等を総合して行います。

(1) 試験日及び試験内容

### 平成28年4月入学(第1回入試)

試験日	試験内容		試験時間
平成27年8月18日(火)	筆記試験	英語※1	9:00～11:00
		専門科目 (志望教育研究分野)	11:30～12:15
	口述試験	専門科目 (志望教育研究分野)	14:00～※2

※1 英語の試験には辞書の持ち込みを認めます。(冊子型のみ可。電子辞書は不可。)

・持込可能な辞書：英和辞典(ジーニアス、リーダーズ等)、和英辞典、英英辞典

・持込不可の辞書：医歯薬学に関する辞典、英和辞典(ステッドマン医学大事典、南山堂医学英和大辞典、ハイネマン歯科英和辞典等)

※2 詳細は、受験票送付時にお知らせします。

**平成28年4月入学（第2回入試）**

試験日	試験内容		試験時間
平成28年1月19日（火）	筆記試験	英語※1	9:00～11:00
		専門科目 （志望教育研究分野）	11:30～12:15
	口述試験	専門科目 （志望教育研究分野）	14:00～※2

※1 英語の試験には辞書の持ち込みを認めます。（冊子型のみ可。電子辞書は不可。）

・持込可能な辞書：英和辞典（ジーニアス，リーダーズ等），和英辞典，英英辞典

・持込不可の辞書：医歯薬学に関する辞典，英和辞典（ステッドマン医学大事典，南山堂医学英和大辞典，ハイネマン歯科英和辞典等）

※2 詳細は，受験票送付時にお知らせします。

**(2) 試験場**

試験場については，受験票送付時にお知らせします。

**7 合格者発表**

合格者の発表は，次のとおり掲示により行います。

	平成28年4月入学（第1回入試）	平成28年4月入学（第2回入試）
日時	平成27年9月25日（金） 10時00分（予定）	平成28年3月1日（火） 10時00分（予定）
掲示場所	鹿田キャンパス 管理棟1階 歯学部棟1階 津島キャンパス 薬学部1号館前	大学院掲示板 歯学部玄関掲示板 掲示板

① 掲示板に合格者の受験番号を発表し，合格者には同日付けで合格通知書等を，出願時に提出のあった「⑦宛名票シール」を用いて本人あてに送付します。

② 掲示による合格者発表後，ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。

(<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/index01.html>)

③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

**8 入学手続****(1) 入学手続方法**

入学手続関係書類は，出願時に提出された「⑦宛名票シール」を用いて，平成28年3月1日（火）付けで合格者あてに発送します。

**(2) 入学手続期間**

平成28年4月入学
平成28年3月10日（木）～ 11日（金）（予定）

**9 入試情報の開示****(1) 開示対象者**

平成28年4月入学入試の受験者

**(2) 開示する内容**

① 本人の試験成績（総得点，口述試験結果）

② 合格者の成績情報（本人が受験した選抜の最高点，最低点 及び 平均点）



ただし、当該選抜の合格者が5人未満の場合は開示しません。

### (3) 開示請求方法

「入試情報開示請求書」(所定様式)に受験票を添えて、本人が下記(4)の開示請求受付期間中に、「4出願手続(3)出願書類提出先」に提出してください。

なお、「入試情報開示請求書」は「4出願手続(3)出願書類提出先」の窓口で入手するか、郵送により請求してください。

郵送で請求する場合には、返信用封筒(郵便番号・住所・氏名を明記し、82円分の切手を貼った長形3号封筒(縦23.5cm×横12cm))を同封の上、「受験番号」及び「入試情報開示請求書希望」の旨を明記し、「4出願手続(3)出願書類提出先」に送付してください。

### (4) 開示請求受付期間

<b>平成28年4月入学</b>
平成28年5月2日(月)～ 6月30日(木)まで 9時00分～17時00分 (土・日曜日、祝日は除く。)

(注) 郵送による開示請求の場合は、期間内の消印があるものに限り受け付けます。

### (5) 開示方法

「入試情報開示請求書」受理後、通知書の準備ができ次第、速やかに開示(発送)します。

※ ただし、平成28年4月入学者から平成28年6月より前に請求があった場合については、6月以降の開示とします。

請求書類に不備があるときには、受理しない(修正を求める)ことがあります。

## 10 その他

### (1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円 [予定額]  
授業料(前・後期共) 267,900円 (年額 535,800円) [予定額]

※ 入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

### (2) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

- ・ 学業成績及び収入状況等の条件を満たしていれば、申請により、入学料又は授業料の全額又は半額の免除を受けられる場合があります。
- ・ 学業成績及び収入状況等の条件を満たしていれば、申請により、各種奨学金の支給又は貸与を受けられる場合があります。

### (3) 昼夜開講制及び長期履修制度について

博士課程では、社会人の受講に便宜を図るため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例(昼夜開講制)を適用し、昼間だけでなく夜間等(土曜日、夏季・冬季休業など)においても授業及び研究指導を行っています。勤務しつつ入学する方は、事前に指導教授等と相談のうえ、入学手続時に昼夜開講制を申請してください。

また、職業を有していることによる修学の困難さに対して、標準修業年限(4年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができる「長期履修制度」を導入しています。

## Ⅳ 外国人留学生特別入試

### 1 出願資格

日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者 又は 平成27年10月入学の入学志願者については平成27年9月までに、平成28年4月入学の入学志願者については平成28年3月までに該当する見込みの者

- (1) 大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学の課程を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位（学位に付記する専攻分野の名称が医学、歯学又は獣医学に限る。）を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学に限る。）を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学に限る。）を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学に限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 修士課程を修了した者等文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）
- (7) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する一貫制博士課程に限る。）に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- (8) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者
- (9) 大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程に4年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

(注1) 出願資格(2)に該当する見込みの者とは、次のいずれかの者です。

- ① 独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行する学位授与申請受理証明書を提出できる者
- ② 学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者

(注2) 出願資格(6)の「文部科学大臣の指定した者」とは、次の各号のいずれかに該当する者です。

- ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学及び歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
- ③-1 修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者
- ③-2 前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で大学院において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- ④ 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの及び獣医学を履修する課程を除く）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(注3) 出願資格(6)の③-2・(6)の④・(7)・(8)及び(9)に該当する入学志願者は、出願の前に個別の入学資格審査を行います。

(注4) 出願資格(9)の「これに準ずる者として文部科学大臣が定める者」とは、次の各号のいずれかに該当する者です。

- ① 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ③ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(注5) 岡山大学大学院博士前期課程、修士課程又は専門職学位課程を平成28年3月に修了見込みの方については、「Ⅴ 進学者選考」（16ページ記載）により出願してください。

(注6) 大学院入学後に、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得できる見込みであること。

## 2 出願資格における個別の入学資格審査

1の「出願資格」(6)の③-2・(6)の④・(7)・(8)及び(9)による入学志願者は、出願の前に、入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、21ページの「Ⅵ 出願資格 事前審査手続要領」を参照の上、期限までに必要書類を提出してください。

## 3 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

	平成27年10月入学 平成28年4月入学（第1回入試）	平成28年4月入学（第2回入試）
相談締切期限	平成27年6月19日（金）	平成27年11月20日（金）
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書及び障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて相談してください。	
請求先・相談先	「4 出願手続の（3）出願書類提出先」に請求・相談してください。	

## 4 出願手続

### (1) 出願方法

入学志願者は、注意事項に留意し、(5)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に下記の提出先へ持参又は出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

### (2) 出願期間

平成27年10月入学 平成28年4月入学（第1回入試）	平成28年4月入学（第2回入試）
平成27年7月21日（火）～ 平成27年7月28日（火） <b>必着</b>	平成27年12月21日（月）～ 平成28年1月5日（火） <b>必着</b>

持参する場合の受付時間は、各日とも9時00分から17時00分までとします。

郵送の場合も、**期限内に必着**としますので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。出願期間中に一部の書類を提出し、出願期間後に不足する書類を追加提出することは認められません。

なお、封筒表面に「**医歯薬学総合研究科（博士課程）入学願書在中**」と朱書きし、**発送時に到着日時を必ず確認**しておいてください。

## (3) 出願書類提出先

提出先は、志望する教育研究分野により異なります。30ページの「IX教員組織と研究内容」を参照してください。

<p><b>鹿田キャンパス</b> 〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ (医学系) 大学院担当 (管理棟1階) TEL:086-235-7986 (歯学系) 歯学部担当 (歯学部棟2階) TEL:086-235-6627</p> <p><b>津島キャンパス</b> 〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1番1号 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等薬学系事務室 (薬学系) 教務学生担当 (薬学部1号館) TEL:086-251-7923</p>
--

## (4) 出願上の注意

- ① 出願を希望する方は、あらかじめ志望する教育研究分野の指導教授と面談し、入学後の研究・教育及び修了後の進路について相談してください。
- ② 出願書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。
- ③ 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ④ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ⑤ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ⑥ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消される場合がありますので注意してください。
- ⑦ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

## (5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
①志願票 ・受験票・写真票	本研究科所定の用紙に入学志願者本人が必要事項を記入してください。
②写真	縦4cm×横3cm, 上半身, 無帽, 正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真を「写真票」の所定欄ののりで貼り付けてください。貼る前に、写真の裏面に志望の教育研究分野名と氏名を記入してください。
③入学検定料	30,000円 (振込手数料が別に必要です。) 入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局を含む。)窓口(ATMは利用できません。)からの振込によって納入し、必ず「入学検定料振込証明書」を志願票の所定欄ののりで貼り付けてください。 [入学検定料の返還について] 次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済の入学検定料は返還しません。 ア 入学検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合 イ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合
④卒業(見込)証明書	出身大学長(学部長)が作成したものを提出してください。(卒業証書や学位記ではありません。) 修士課程又は専門職大学院を修了(見込)の方は、修士課程又は専門職大学院の修了(見込)証明書も併せて提出してください。 ただし、本学の医学部医学科、歯学部及び薬学部薬学科出身者は不要です。 中国の大学又は大学院を卒業(修了)した方は、⑪の書類を提出してください。

⑤成績証明書	出身大学長(学部長)が作成したものを提出してください。 修士課程又は専門職大学院を修了(見込)の方は、修士課程又は専門職大学院の成績証明書も併せて提出してください。 ただし、本学医学部医学科、歯学部及び薬学部薬学科出身者は不要です。 中国の大学又は大学院を卒業(修了)した方は、⑪の書類を提出してください。
⑥受験票等送付用封筒	長型3号の封筒に、受験票の送付先(入学志願者本人の住所・氏名及び郵便番号)を明記し、372円分の切手を貼り付けてください。
⑦宛名票シール	合格通知及び入学手続書類等の送付用 合格者発表日及び入学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入してください。
⑧語学力を証明する資料※	志望する教育研究分野の教授と相談し、以下のうちいずれか一つ。 ・日本語能力試験2級以上、若しくはN2以上の合格通知書 ・TOEFL・PBT(ITP含む)の500点以上の成績通知書 ・TOEFL・CBTの173点以上の成績通知書 ・TOEFL・iBTの61点以上の成績通知書 ・TOEICの590点以上の成績通知書 ・IELTS(overall score)の5.5以上の成績通知書
⑨住民票	現に日本国に在住の外国人の入学志願者は、市区町村長の交付する住民票(在留資格・在留期間が明示されたもの)を提出してください。 出願時に日本国内に在住しない方は、受験のための有効な査証の写を提出してください。
⑩受入予定教員作成の推薦書	受入の経緯及び受入後の指導内容等を記載した推薦書 様式任意：A4用紙1枚程度 (出願資格審査で、同様のものを提出した場合を除く)
<p>⑪中国の大学又は大学院を卒業(修了)した方については、以下の証明書に関する中国教育部学位与研究生教育发展中心(CDGDC)発行の<u>英文の認証書</u>を提出してください。ただし、CDGDCが発行し、岡山大学に直接送付する認証書のみ有効とします。</p> <p>・学位の証明書、成績証明書 (大学院を修了した方については、学部と大学院の両方の証明書の認証書を提出してください。)</p> <p><b>【出願時に提出するもの】</b></p> <p>・認証申請表(コピーで可) ・CDGDCへの払い込み証明書(コピーで可) CDGDCへの手続については、<u>10 その他の(3)</u>を参照のこと。</p> <p>なお、出願の直前に中国の大学又は大学院を卒業(修了)するため、出願期間までにCDGDC発行の認証書の提出が間に合わない場合は、上記の「出願時に提出するもの」の他、最終学歴の卒業(修了)証明書、学位の証明書、成績証明書に関する公証書を提出してください。(大学院を修了した方については、学部と大学院の両方の証明書に関する公証書を提出してください。)</p>	

【上記の他、必要によりその他の証明書等の提出を求めることがあります。】

※ 母国において主たる言語として英語を使用している者については、下記の期限までに、「(3) 出願書類提出先」へ問い合わせてください。

	平成27年10月入学 平成28年4月入学(第1回入試)	平成28年4月入学(第2回入試)
問い合わせ期限	平成27年6月19日(金)	平成27年11月20日(金)

**(6) 個人情報の利用目的**

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を入学料免除等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

**5 受験票の交付**

(1) 受験票は、下記のとおり本人あて発送します。

なお、到着予定日までに到着しない場合には、「4 出願手続の(3) 出願書類提出先」に連絡してください。

	平成27年10月入学 平成28年4月入学（第1回入試）	平成28年4月入学（第2回入試）
送付時期	平成27年8月4日（火）頃	平成28年1月12日（火）頃
到着予定日	平成27年8月6日（木）	平成28年1月14日（木）

(2) 受験票は、試験当日及び入学手続並びに入試情報開示請求の際に必要なとなりますので、大切に保管しておいてください。

**6 入学者選抜方法等**

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、面接試験及び出願書類等を総合して行います。

(1) 試験日及び試験内容

**平成27年10月入学、平成28年4月入学（第1回入試）**

試験日	試験内容		試験時間
平成27年8月17日（月）	面接試験		15:00～
平成27年8月18日（火）	筆記試験	英語又は日本語から1か国語を選択※ <sup>1</sup>	9:00～11:00
	口述試験	専門科目 (志望教育研究分野)	14:00～ ※ <sup>2</sup>

※<sup>1</sup> 英語の試験には辞書の持ち込みを認めます。（冊子型のみ可。電子辞書は不可。）

・持込可能な辞書：英和辞典（ジーニアス、リーダーズ等）、和英辞典、英英辞典

・持込不可の辞書：医歯薬学に関する辞典、英和辞典（ステッドマン医学大事典、南山堂医学英和大辞典、ハイネマン歯科英和辞典等）

※<sup>2</sup> 詳細は、受験票送付時にお知らせします。

**平成28年4月入学（第2回入試）**

試験日	試験内容		試験時間
平成28年1月18日（月）	面接試験		医学系14:00～ 歯学系・薬学系15:00～
平成28年1月19日（火）	筆記試験	英語又は日本語から1か国語を選択※ <sup>1</sup>	9:00～11:00
	口述試験	専門科目 (志望教育研究分野)	14:00～ ※ <sup>2</sup>

※<sup>1</sup> 英語の試験には辞書の持ち込みを認めます。（冊子型のみ可。電子辞書は不可。）

・持込可能な辞書：英和辞典（ジーニアス、リーダーズ等）、和英辞典、英英辞典

・持込不可の辞書：医歯薬学に関する辞典、英和辞典（ステッドマン医学大事典、南山堂医学英和大辞典、ハイネマン歯科英和辞典等）

※<sup>2</sup> 詳細は、受験票送付時にお知らせします。

**(2) 試験場**

試験場については、受験票送付時にお知らせします。

**7 合格者発表**

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

	平成27年10月入学 平成28年4月入学（第1回入試）	平成28年4月入学（第2回入試）
日時	平成27年9月25日（金） 10時00分（予定）	平成28年3月1日（火） 10時00分（予定）
掲示場所	鹿田キャンパス 管理棟1階 歯学部棟1階 津島キャンパス 薬学部1号館前	大学院掲示板 歯学部玄関掲示板 掲示板

- ① 掲示板に合格者の受験番号を発表し、合格者には同日付けで合格通知書等を、出願時に提出のあった「⑦宛名票シール」を用いて本人あてに送付します。
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。  
(<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/index01.html>)
- ③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

**8 入学手続****(1) 入学手続方法**

入学手続関係書類は、出願時に提出された「⑦宛名票シール」を用いて、平成27年10月入学者については平成27年9月25日（金）付けで、平成28年4月入学者については平成28年3月1日（火）付けで合格者あてに発送します。

**(2) 入学手続期間**

平成27年10月入学	平成28年4月入学
平成27年9月28日（月）～ 29日（火）（予定）	平成28年3月10日（木）～ 11日（金）（予定）

**9 入試情報の開示****(1) 開示対象者**

平成27年10月入学入試の受験者及び平成28年4月入学入試の受験者

**(2) 開示する内容**

- ① 本人の試験成績（総得点、口述試験結果及び面接結果）
- ② 合格者の成績情報（本人が受験した選抜の最高点、最低点及び平均点）  
ただし、当該選抜の合格者が5人未満の場合は開示しません。

**(3) 開示請求方法**

「入試情報開示請求書」（所定様式）に受験票を添えて、本人が下記(4)の開示請求受付期間中に、「4出願手続(3)出願書類提出先」に提出してください。

なお、「入試情報開示請求書」は「4出願手続(3)出願書類提出先」の窓口で入手するか、郵送により請求してください。

郵送で請求する場合には、返信用封筒（郵便番号・住所・氏名を明記し、82円分の切手を貼った長形3号封筒（縦23.5cm×横12cm））を同封の上、「受験番号」及び「入試情報開示請求書希望」の旨を明記し、「4出願手続(3)出願書類提出先」に送付してください。

## (4) 開示請求受付期間

平成27年10月入学	平成28年4月入学
平成27年11月4日(水)～ 12月25日(金)まで 9時00分～17時00分 (土・日曜日、祝日は除く。)	平成28年5月2日(月)～ 6月30日(木)まで 9時00分～17時00分 (土・日曜日、祝日は除く。)

(注) 郵送による開示請求の場合は、期間内の消印があるものに限り受け付けます。

## (5) 開示方法

「入試情報開示請求書」受理後、通知書の準備ができ次第、速やかに開示(発送)します。

※ ただし、平成28年4月入学者から平成28年6月より前に請求があった場合については、6月以降の開示とし、平成27年10月入学者から平成27年12月より前に請求があった場合については、12月以降の開示とします。

請求書類に不備があるときには、受理しない(修正を求める)ことがあります。

## 10 その他

## (1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円 [予定額]

授業料(前・後期共) 267,900円 (年額 535,800円) [予定額]

※ 入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

## (2) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

- ・ 学業成績及び収入状況等の条件を満たしていれば、申請により、入学料又は授業料の全額又は半額の免除を受けられる場合があります。
- ・ 学業成績及び収入状況等の条件を満たしていれば、申請により、各種奨学金の支給又は貸与を受けられる場合があります。

## (3) 中国教育部学位与研究生教育发展中心(CDGDC)への手続概要

①中国の大学又は大学院を卒業(修了)した入学志願者は、中国教育部学位与研究生教育发展中心(CDGDC)のWebサイトで手続を行い、英文の認証書をCDGDCから岡山大学へ直接EMSにより送付するように申請登録を行ってください。

- ・ CDGDCのWebサイト <http://www.cdgdc.edu.cn/>
- ・ 送付先 岡山大学(登録コード S300101)
- ・ 依頼する証明書 学位証明書・成績証明書
- ・ 証明書の言語 英語
- ・ 費用の支払い方法 “99bill”による支払い
- ・ 岡山大学への送付方法 EMS

※ CDGDCのWebサイトでの申請登録時には、必ず「申請番号」及び「パスワード」を控えておいてください。

※ CDGDCへの申込みには手数料が必要です。

## ②CDGDCのWebサイトで申請登録後の手続( CDGDC 宛て)

申請登録後は、速やかに次のものをCDGDCに送付してください。

- ・ 志願者本人の証書に関する書類(認証の対象となる証書あるいは属する省により提出する書類が異なるので、志願者本人からCDGDCに直接問い合わせてください。)
- ・ 認証申請表
- ・ CDGDCへの払い込み証明書(コピーで可)

## ③CDGDCのWebサイトで申請登録後の手続(岡山大学宛て)

4 出願手続(5)出願に必要な書類等①[出願時に提出するもの]に記載する出願書類の通り、次のものを岡山大学へ送付してください。

- ・ 認証申請表(コピーで可)
- ・ CDGDCへの払い込み証明書(コピーで可)

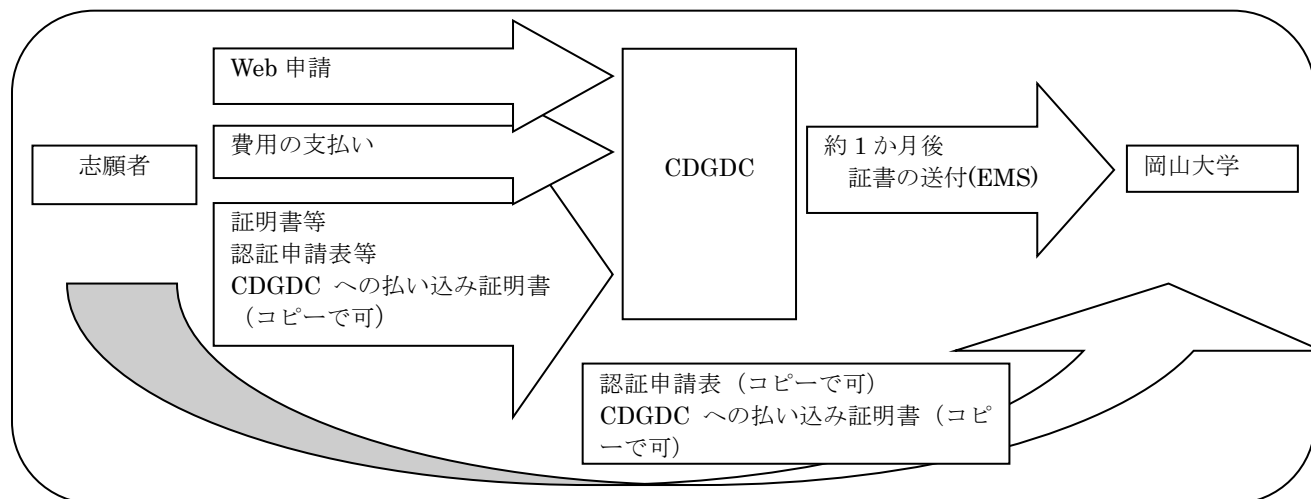


④CDGDC は、英文の認証書を岡山大学へ直接送付してください。

※ 入学志願者本人が CDGDC より受け取った認証書を岡山大学に提出した場合は無効となります。

※ 認証書送付には、「Web サイトでの申し込み」、「証明書等の書類の送付」及び「料金の支払い完了」の3つの手続が必要です。これらすべての手続完了後、CDGDC から岡山大学へ認証書が送付されるまで1か月程度必要です。

CDGDC からの認証書が出願期間内に岡山大学へ届くよう十分な余裕を持って手続を行ってください。



## V 進学者選考

### 1 出願資格

岡山大学大学院博士前期課程，修士課程及び専門職大学院の課程を平成28年3月修了見込みの者

### 2 障がい等のある方の出願

障がい等のある進学志願者は，受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので，出願に先立ち，次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し，少しでも早く相談してください。

	平成28年4月進学（第1回選考）	平成28年4月進学（第2回選考）
相談締切期限	平成27年6月19日（金）	平成27年11月20日（金）
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して，医師の診断書及び障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて相談してください。	
請求先・相談先	「3 出願手続の（3）出願書類提出先」に請求・相談してください。	

### 3 出願手続

#### （1）出願方法

進学志願者は，注意事項に留意し，（5）の「出願に必要な書類等」を，出願期間内に下記の提出先へ持参又は出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

#### （2）出願期間

平成28年4月進学（第1回選考）	平成28年4月進学（第2回選考）
平成27年7月21日（火）～ 平成27年7月28日（火） <b>必着</b>	平成27年12月21日（月）～ 平成28年1月5日（火） <b>必着</b>

持参する場合の受付時間は，各日とも9時00分から17時00分までとします。

郵送の場合も，**期限内に必着**としますので，郵便事情等を十分考慮の上，余裕をもって発送してください。出願期間中に一部の書類を提出し，出願期間後に不足する書類を追加提出することは認められません。

なお，封筒表面に「医歯薬学総合研究科（博士課程）進学願書在中」と朱書きし，**発送時に到着日時を必ず確認**しておいてください。

#### （3）出願書類提出先

提出先は，志望する教育研究分野により異なります。30ページの「IX教員組織と研究内容」を参照してください。

<p><b>鹿田キャンパス</b> 〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ （医学系）大学院担当（管理棟1階） TEL:086-235-7986 （歯学系）歯学部担当（歯学部棟2階） TEL:086-235-6627</p> <p><b>津島キャンパス</b> 〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1番1号 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等薬学系事務室 （薬学系）教務学生担当（薬学部1号館） TEL:086-251-7923</p>
--

## (4) 出願上の注意

- ① 出願を希望する方は、あらかじめ志望する教育研究分野の指導教授と面談し、進学後の研究・教育及び修了後の進路について相談してください。
- ② 出願書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。
- ③ 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ④ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ⑤ 出願書類に不備があるものは受理しません。
- ⑥ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、進学後においても進学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑦ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を進学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。
- ⑧ 検定料は不要です。

## (5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
①志願票 ・受験票・写真票	本研究科所定の用紙に進学志願者本人が必要事項を記入してください。
②写真	縦4cm×横3cm, 上半身, 無帽, 正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真を「写真票」の所定欄ののりで貼り付けてください。貼る前に、写真の裏面に志望の教育研究分野名と氏名を記入してください。
③修了見込証明書	在籍中の研究科長が作成したものを提出してください。 ただし、本研究科医歯科学専攻を修了見込みの方は不要です。
④卒業証明書	出身大学の学部の卒業証明書が必要。 本研究科医歯科学専攻修了見込みの方は不要です。
⑤成績証明書	出身大学の学部及び在籍中の大学院両方の成績証明書が必要。 それぞれ、出身大学の学長(学部長)及び在籍中の研究科長が作成したものを提出してください。 本研究科医歯科学専攻修了見込みの方は不要です。
⑥研究業績 ・研究計画書	本研究科所定の用紙
⑦受験票等送付用封筒	長型3号の封筒に、受験票の送付先(進学志願者本人の住所・氏名及び郵便番号)を明記し、372円分の切手を貼り付けてください。
⑧宛名票シール	合格通知 及び 進学手続書類等の送付用 合格者発表日及び進学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入してください。
⑨受験許可書	本研究科所定の様式によらず、任意の様式でも可。 出願時に、官公署・企業・病院等に勤務し、入学後もその職にある方は提出が必要です。(勤務先が変わる場合は不要)
【外国人志願者のみ】 ⑩語学力を証明する資料	志望する教育研究分野の教授と相談し、以下のうちいずれか一つ。 ・日本語能力試験2級以上、若しくはN2以上の合格通知書 ・TOEFL・PBT (ITP 含む)の500点以上の成績通知書 ・TOEFL・CBTの173点以上の成績通知書 ・TOEFL・iBTの61点以上の成績通知書 ・TOEICの590点以上の成績通知書 ・IELTS(overall score)の5.5以上の成績通知書
【外国人志願者のみ】 ⑪住民票	現に日本国に在住の外国人の進学志願者は、市区町村長の交付する住民票(在留資格・在留期間が明示されたもの)を提出してください。

**(6) 個人情報の利用目的**

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜（進学者選考）に係る業務に使用します。

ただし、進学者については志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績（進学者選考）及び学業成績証明書を授業料免除等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

**5 受験票の交付**

(1) 受験票は、下記のとおり本人あて発送します。

なお、到着予定日までに到着しない場合には、「3 出願手続の(3) 出願書類提出先」に連絡してください。

	平成28年4月進学（第1回選考）	平成28年4月進学（第2回選考）
送付時期	平成27年8月4日（火）頃	平成28年1月12日（火）頃
到着予定日	平成27年8月6日（木）	平成28年1月14日（木）

(2) 受験票は、試験当日及び進学手続並びに入試情報開示請求の際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

**5 進学者選考方法等**

進学者の選考は、筆記試験、口述試験及び出願書類等を総合して行います。

(1) 試験日及び試験内容

**平成28年4月進学（第1回選考）**

試験日	試験内容		試験時間
平成27年8月18日（火）	筆記試験	英語 <sup>※1</sup>	9:00～11:00
	口述試験	専門科目 (志望教育研究分野)	14:00～ <sup>※2</sup>

※1 英語の試験には辞書の持ち込みを認めます。（冊子型のみ可。電子辞書は不可。）

- ・持込可能な辞書：英和辞典（ジーニアス、リーダーズ等）、和英辞典、英英辞典
- ・**持込不可の辞書**：医歯薬学に関する辞典、英和辞典（ステッドマン医学大事典、南山堂医学英和大辞典、ハイネマン歯科英和辞典等）

※2 詳細は、受験票送付時にお知らせします。

**平成28年4月進学（第2回選考）**

試験日	試験内容		試験時間
平成28年1月19日（火）	筆記試験	英語 <sup>※1</sup>	9:00～11:00
	口述試験	専門科目 (志望教育研究分野)	14:00～ <sup>※2</sup>

※1 英語の試験には辞書の持ち込みを認めます。（冊子型のみ可。電子辞書は不可。）

- ・持込可能な辞書：英和辞典（ジーニアス、リーダーズ等）、和英辞典、英英辞典
- ・**持込不可の辞書**：医歯薬学に関する辞典、英和辞典（ステッドマン医学大事典、南山堂医学英和大辞典、ハイネマン歯科英和辞典等）

※2 詳細は、受験票送付時にお知らせします。

**(2) 試験場**

試験場については、受験票送付時にお知らせします。

**6 合格者発表**

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

	平成28年4月進学（第1回選考）	平成28年4月進学（第2回選考）
日時	平成27年9月25日（金） 10時00分（予定）	平成28年3月1日（火） 10時00分（予定）
掲示場所	鹿田キャンパス 管理棟1階 歯学部棟1階 津島キャンパス 薬学部1号館前	大学院掲示板 歯学部玄関掲示板 掲示板

- ① 掲示板に合格者の受験番号を発表し、合格者には同日付けで合格通知書等を、出願時に提出のあった「⑧宛名票シール」を用いて本人あてに送付します。
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。  
(<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/index01.html>)
- ③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

**7 進学手続****(1) 進学手続方法**

進学手続関係書類は、出願時に提出された「⑧宛名票シール」を用いて、平成28年2月26日（金）付けで合格者あてに発送します。

**(2) 進学手続期間**

平成27年4月進学
平成28年3月10日（木）～ 11日（金）（予定）

**8 入試情報の開示****(1) 開示対象者**

平成28年4月進学の進学者選考の受験者

**(2) 開示する内容**

- ① 本人の試験成績（総得点、口述試験結果）
- ② 合格者の成績情報（本人が受験した選抜の最高点、最低点 及び 平均点）  
ただし、当該選抜の合格者が5人未満の場合は開示しません。

**(3) 開示請求方法**

「入試情報開示請求書」（所定様式）に受験票を添えて、本人が下記(4)の開示請求受付期間中に、「3出願手続（3）出願書類提出先」に提出してください。

なお、「入試情報開示請求書」は「3出願手続（3）出願書類提出先」の窓口で入手するか、郵送により請求してください。

郵送で請求する場合には、返信用封筒（郵便番号・住所・氏名を明記し、82円分の切手を貼った長形3号封筒（縦23.5cm×横12cm））を同封の上、「受験番号」及び「入試情報開示請求書希望」の旨を明記し、「3出願手続（3）出願書類提出先」に送付してください。

(4) 開示請求受付期間

平成28年4月進学
平成28年5月2日(月)～ 6月30日(木)まで 9時00分～17時00分 (土・日曜日、祝日は除く。)

(注) 郵送による開示請求の場合は、期間内の消印があるものに限り受け付けます。

(5) 開示方法

「入試情報開示請求書」受理後、通知書の準備ができ次第、速やかに開示(発送)します。

※ ただし、平成28年4月進学者から平成28年6月より前に請求があった場合については、6月以降の開示とします。

請求書類に不備があるときには、受理しない(修正を求める)ことがあります。

9 その他

(1) 授業料(入学料は不要)

授業料(前・後期共) 267,900円(年額 535,800円) [予定額]

※ 進学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

(2) 修学援助

修学援助の一環として、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

- ・ 学業成績及び収入状況等の条件を満たしていれば、申請により、授業料の全額又は半額の免除を受けられる場合があります。
- ・ 学業成績及び収入状況等の条件を満たしていれば、申請により、各種奨学金の支給又は貸与を受けられる場合があります。

(3) 昼夜開講制及び長期履修制度について

博士課程では、社会人の受講に便宜を図るため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例(昼夜開講制)を適用し、昼間だけでなく夜間等(土曜日、夏季・冬季休業など)においても授業及び研究指導を行っています。勤務しつつ進学する方は、進学手続き時に昼夜開講制を申請するようにしてください。

また、職業を有していることによる修学の困難さに対して、標準修業年限(4年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができる「長期履修制度」を導入しています。

## VI 出願資格 事前審査手続要領

一般入試及び外国人留学生特別入試において、「2 出願資格における個別の入学資格審査」により出願を希望する者は、事前に以下の手続を行い、出願資格を認められなければ出願できません。

### (1) 受付期間

平成27年10月入学 平成28年4月入学（第1回入試）	平成28年4月入学（第2回入試）
平成27年6月15日（月）～ 平成27年6月19日（金） 必着	平成27年11月16日（月）～ 平成27年11月20日（金） 必着

上記期間内に下記の提出先へ持参又は受付期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

持参する場合の受付時間は、各日とも9時00分から17時00分までとします。（ただし、祝日を除きます。）

郵送の場合も、**期限内に必着**としますので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

なお、封筒表面に「**医歯薬学総合研究科（博士課程）出願資格事前審査書類在中**」と朱書きし、**発送時に到着日時を必ず確認**しておいてください。

### (2) 書類提出先

提出先は、志望する教育研究分野により異なります。30ページの「IX教員組織と研究内容」を参照してください。

<p><b>鹿田キャンパス</b> 〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ (医学系) 大学院担当 (管理棟1階) TEL:086-235-7986 (歯学系) 歯学部担当 (歯学部棟2階) TEL:086-235-6627</p> <p><b>津島キャンパス</b> 〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1番1号 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等薬学系事務室 (薬学系) 教務学生担当 (薬学部1号館) TEL:086-251-7923</p>
--

### (3) 提出書類

#### ① 「出願資格(6)の④及び(8)」によるもの

- ・ 出願資格認定申請書（本研究科所定の用紙）
- ・ 研究業績調書（本研究科所定の用紙）
- ・ 最終学歴の卒業証明書又は修了証明書 <sup>注3</sup>
- ・ 所属長の推薦書又は研究歴等を証明する書類  
（様式任意：勤務先機関名・研究期間・研究内容等が記載されたもの）
- ・ 受入教員の推薦書（受入の経緯及び出願資格があると思われる理由を明記した推薦書）
- ・ 封筒 1通（定型の封筒に返信先住所等を記入し、372円分の切手を貼付してください。）
- ・ 研究計画書（本研究科所定の用紙）
- ・ 主要な論文、研究発表等の写し
- ・ 最終学歴の成績証明書 <sup>注3</sup>

#### ② 「出願資格(6)の③-2, (7)及び(9)」によるもの

- ・ 出願資格認定申請書（本研究科所定の用紙）
- ・ 最終学歴（在学中の学校）の在学期間証明書
- ・ 履修要覧（学生便覧）等
- ・ 受入教員の推薦書（受入の経緯及び出願資格があると思われる理由を明記した推薦書）
- ・ 封筒 1通（定型の封筒に返信先住所等を記入し、372円分の切手を貼付してください。）
- ・ 研究計画書（本研究科所定の用紙）
- ・ 最終学歴（在学中の学校）の成績証明書 <sup>注3</sup>

注1) 上記の他、必要によりその他の証明書等の提出を求めています。

注2) 提出書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

注3) 中国の大学又は大学院を卒業（修了）した方については、以下の証明書に関する中国教育部

学位与研究生教育発展中心(CDGDC)発行の英文の認証書を提出してください。ただし、CDGDCが発行し、岡山大学に直接送付する認証書のみ有効とします。

- ・学位の証明書及び成績証明書

**[事前審査の申請時に提出するもの]**

- ・認証申請表
- ・CDGDC への払い込み証明書 (コピーで可)

※ CDGDC への手続については、14ページを参照のこと

※ 出願資格事前審査の受付期間内に CDGDC 発行の認証書の提出が間に合わない場合は、最終学歴の卒業証明書又は修了証明書、学位の証明書及び成績証明書に関する公証書を提出してください。

**(4) 認定方法**

書類審査及び面接による。(面接の日程等の詳細は、後日通知します。)

	平成27年10月入学 平成28年4月入学(第1回入試)	平成28年4月入学(第2回入試)
面接日程	平成27年6月30日(火) 11:00~(予定)	平成27年12月1日(火) 11:00~(予定)

事前審査の結果は、後日、申請者へ通知します。

出願資格が認められた方は、「医歯薬学総合研究科 博士課程 学生募集要項」により出願手続を行ってください(事前審査で提出済みの証明書等の書類は、出願手続時に再度提出する必要はありません。)

**(5) 出願資格(9)のうち、『大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程に4年以上在学した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの』による入学志願者に対する留意事項**

○出願時において、4年次修了時まで修得すべき専門教育科目の全ての単位を優秀な成績で修得(修得見込みを含む)していることが必要です(資格認定の基準については、受付時にお知らせします。)

○入学試験に合格した者は、指定された期日までに4年次(又は5年次)最終までの成績証明書を添付して「最終資格審査願」を提出しなければなりません。

最終資格審査に合格した者には、入学手続等に関する書類を本人あて送付します。

○大学院修了後、国家試験受験等のための学部への再入学については、所属大学で事前に確認の上、出願してください。



## VII 研究科案内

大学院医歯薬学総合研究科は2つのキャンパスに分かれており、博士課程のほか、次の各課程・専攻で構成されています。

課程	専攻	修業年限	授与する学位の名称	キャンパス
博士課程	生体制御科学専攻 病態制御科学専攻 機能再生・再建科学専攻 社会環境生命科学専攻	4年	博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学), 博士(学術)	鹿田キャンパス (医学系・歯学系) 津島キャンパス (薬学系)
修士課程	医歯科学専攻	2年	修士(医科学), 修士(公衆衛生学), 修士(歯科学), 修士(学術)	鹿田キャンパス
博士後期課程	薬科学専攻	3年	博士(薬科学), 博士(学術)	津島キャンパス
博士前期課程	薬科学専攻	2年	修士(薬科学)	津島キャンパス

### 博士課程

#### 1. 組織及び研究内容

30ページからの「IX教員組織と研究内容」を参照してください。

#### 2. 修了要件

所定の30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、研究科の行う学位論文の審査及び最終試験に合格すること。修了要件を満たした者には、上記の学位が授与されます。

#### 3. 博士課程の履修コース及び履修方法

博士課程には、以下の7つの履修コースを設けています。

詳細は、医歯薬学総合研究科HP <http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/index02.html> を参照してください。右記のQRコードからアクセスすることができます。また、入学後の授業日程についても、HPにて確認できます。

- (1) 一般コース
- (2) 臨床専門医コース(医学系)
- (3) 臨床専門医コース(歯学系)
- (4) がんプロフェッショナルコース(医学系)
- (5) がんプロフェッショナルコース(薬学系)
- (6) 分子イメージング教育コース
- (7) アカデミックGP養成コース



### (1) 一般コース

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科がこれまで実績を挙げてきた共通コア科目（研究方法論基礎・応用と課題研究）及び専門科目により研究手法の修得と論文の作成を行うコースです。

平成20年度からは、更に学際的な内容に対応できるよう専門科目に副科目制を導入し、他の教育研究分野の指導を受ける体制を整えています。

#### 履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	5	4月から9月に開講する研究方法論の基礎に25回、 応用に20回出席
研究方法論応用	4	
課題研究	5	課題研究セミナーに6回以上出席（うち1回発表）
専門科目		所属する教育研究分野の「講義・演習」「演習・実習」を履修 他の教育研究分野の「講義・演習」を履修
主科目（所属する教育研究分野）	12	
副科目（他の教育研究分野）	4	

### (2) 臨床専門医コース（医学系）

高度な専門的臨床能力の修得及び臨床研究を理解し実践できる能力を修得することを目的としたコースです。全人的な視野を持った患者診療並びに国際的視野を持った臨床研究の実践も目指し、専門医資格取得のための準備期間としても役立つコースです。

臨床研究において特に重要となる「疫学」、「医療統計学」及び「臨床研究疫学」関連の授業科目を重点的に履修します。

#### 履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	3	4月から9月に開講する研究方法論基礎に15回出席
研究方法論応用	6	「疫学講義」「医療統計学講義・演習」「臨床研究疫学 実践論」の3科目の履修で6単位
課題研究	5	課題研究セミナーに6回以上出席（うち1回発表）
専門科目		所属する教育研究分野の「講義・演習」「演習・実習」を履修 他の教育研究分野の「講義・演習」を履修
主科目（所属する教育研究分野）	12	
副科目（他の教育研究分野）	4	

### (3) 臨床専門医コース（歯学系）

高度な専門的臨床能力の修得及び臨床研究を理解し実践できる能力を修得することを目的としたコースです。全人的な視野を持った患者診療並びに国際的視野を持った臨床研究の実践も目指し、近年の専門医制度と同調し、専門医資格取得のための準備期間としても役立つコースです。

#### 履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	2	4月から9月に開講する研究方法論の基礎に10回、 応用に10回出席
研究方法論応用	2	
課題研究	6	課題研究セミナーに6回以上出席 (うち1回発表, 臨床研究デザインワークショップ1回出席)
専門科目		所属する教育研究分野の「講義・演習」「演習・実習」を履修
主科目1	9	
主科目2	9	
副科目(他の教育研究分野)	2	

### (4) がんプロフェSSIONALコース（医学系）

がんにて化した臨床研究方法の理解と実践, トランスレーショナルリサーチの実践ができる人材の育成を行い, 地域でのがん均てん化に役立てることを目的としたコースです。

#### 履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	5	4月から9月に開講する研究方法論基礎に25回出席
研究方法論応用	6	「疫学講義」「医療統計学講義・演習」「臨床研究疫学実践論」の3科目の履修で6単位
その他のコア科目		全科目必修
悪性腫瘍の管理と治療	1	
医療倫理と法律的・経済的問題	0.5	
医療対話学	0.5	
がんチーム医療実習	0.5	
医療情報学	0.5	
がん専門医・薬剤師共通科目		全科目必修
がんのベーシックサイエンス・臨床薬理学	1	
がん臨床検査・病理診断・放射線診断学	0.5	
臓器別がん治療各論	2	
がん緩和治療	0.5	
臨床腫瘍医専門科目		所属する教育研究分野で実施 課題研究セミナーに4回以上出席(うち1回発表)
臨床腫瘍学実習	8	
専門研究	4	

### (5) がんプロフェSSIONALコース（薬学系）

がんにて特化した臨床研究方法の理解と実践，トランスレーショナルリサーチの実践ができる人材の育成を行い，地域でのがん均てん化に役立てることを目的としたコースです。

#### 履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	5	4月から9月に開講する研究方法論基礎に25回出席
研究方法論応用	6	「疫学講義」「医療統計学講義・演習」「臨床研究疫学実践論」の3科目の履修で6単位
その他のコア科目 悪性腫瘍の管理と治療 医療倫理と法律的・経済的問題 医療対話学 がんチーム医療実習 医療情報学	1 0.5 0.5 0.5 0.5	全科目必修
がん専門医・薬剤師共通科目 がんのベーシックサイエンス・臨床薬理学 がん臨床検査・病理診断・放射線診断学 臓器別がん治療各論 がん緩和治療	1 0.5 2 0.5	全科目必修
臨床腫瘍専門科目 がん治療修練 がん専門薬剤師特論 がん薬物治療実技演習 集学的治療薬特論 臨床薬理学特論 専門研究	1 2 1 2 2 4	全科目必修 専門研究については，課題研究セミナーに4回以上出席（うち1回発表）

### (6) 分子イメージング教育コース

このコースは，岡山大学大学院医歯薬学総合研究科と（独）理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター（理研CLST）が協力し，連携大学院を設置して分子イメージング技術を修得するコースです。

分子イメージングとは，生体内での分子の挙動をリアルタイムに可視化する手法で，その可視化は，非侵襲的に行えるのが特徴です。汎用される分子イメージング技術には，光イメージング（蛍光，発光），磁気共鳴イメージング（MRI）及び核医学イメージング（PET，SPECTなど）があり，今日，わが国の科学技術政策においても推進される重要研究分野です。この技術は，医学，歯学，薬学はもとより，物理学（加速器科学，核物理学），化学，工学などの境界・複合領域も含む基盤技術からなり，臨床応用や基礎医学研究に資する技術として，大きな期待が寄せられています。

このコースでは，岡山大学や理研CLSTなどにおける分子イメージング科学研究の第一線の研究者により，基礎から臨床応用にわたる広範な講義並びに演習や，おかやまメディカルイノベーションセンター（OMIC）や理研CLSTでの実習等が予定されています。

#### 履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	5	4月から9月に開講する研究方法論の基礎に25回, 応用に20回出席
研究方法論応用	4	
課題研究	5	課題研究セミナーに6回以上出席 (うち1回発表)
専門科目		所属する教育研究分野の「講義・演習」「演習・実習」を履修 必修科目
主科目 (所属する教育研究分野)	8	
分子イメージング科学 (講義・演習)	2	
分子イメージング科学 (演習・実習)	4	
PET 科学アカデミー	2	必修科目

### (7) アカデミックGP養成コース

このコースは、専門科を超えた疾患に対応できる臨床と総合診療に関連した、地域の問題解決型臨床研究を行うコースです。総合診療医が、診療の現場で感じた個々の臨床的疑問をシーズに、基礎研究から臨床研究まで幅広く行うことが特徴です。臨床研究では、質的研究の成果を疫学モデルへと繋ぎ、プライマリケア領域の課題解決へ向けた臨床研究を実際に行うことにより、総合診療におけるEBMを発信できる研究を目指しています。診断学・治療学・疫学・倫理学・社会学など、横断的・統合的な研究・教育能力をもつ医師を育成するためのコースです。

#### 履修方法

授 業 科 目	単位数	履修方法概要
研究方法論基礎	4	4月から9月に開講する研究方法論の基礎に20回, 応用に20回出席
研究方法論応用	4	
課題研究	4	課題研究セミナーに4回以上出席 (うち1回発表)
統合科目	2	必修科目
専門科目		所属する教育研究分野の「講義・演習」「演習・実習」を履修 他の教育研究分野の「講義・演習」を履修
主科目 (所属する教育研究分野)	12	
副科目 (他の教育研究分野)	4	

## Ⅷ 人材養成目的と教育目標

### ■生体制御科学専攻

生体では、分子が細胞・組織を構成し、さらに高次レベルで統合され、器官・システム・個体が階層的に構成され、秩序を保って制御を受けている。疾患はこれらの制御と統合の乱れとして理解される。本専攻では、生命現象を包括的に捉え、生体の制御機構を明らかにし、疾患の成立機序の解明と治療に結びつける研究を推進・展開する。このような研究基盤を踏まえて、例えば、ヒトゲノム解析の研究成果を基盤として、正常時から疾患時における特定の細胞・組織・器官・システムの生命現象を分子制御機序に基づいた現象として理解すると共にそれを先端的医療へ応用・展開することのできる高度な専門的研究指向能力を備えた医療人を育成する。さらに、地域的・国際的な場で強い指導力を発揮できる高度な専門的実地指導推進型の医療人を養成する。

この人材養成目的を実現させるため、国際的視野に立つ豊かで高度な情報力と医療実践能力を涵養し、以下に示す専門分野の研究能力と専門的指導力を身に付ける教育を目指す。

- 1) 正常時から疾患時における、特定の細胞・組織・器官・システムにおける分子制御機序に基づいた包括的生命現象の基礎的理解とそれに基づく臨床的応用展開
- 2) 正常時から疾患時における、入出力系を介して高次で統合する脳神経・感覚器系の機能制御機構の基礎的理解とそれに基づく臨床的応用展開

### ■病態制御科学専攻

病態を科学的に解明し、その分析結果から病態を制御する方法を創造することは医学・医療の基本的理念に基づくが、それが効率的になされるためには、基礎医学と臨床医学の有機的な連携が不可欠である。特に先端的な医療である遺伝子治療、移植医療、放射線医療においては、基礎的なおかつ革新的な研究成果の具現化が、有効な臨床成果につながっていく。本専攻は、基礎研究の成果をトランスレショナル・リサーチとして臨床研究に取り入れ、これを再構築し、先端的な制御医学を開発・臨床応用できる人材の養成を目指すとともに、腫瘍をはじめとする病態を臨床的な視点から科学的に分析し、臨床成果に直結する臨床研究を行える人材の養成を目指す。

この人材養成目的の実現を図るために、以下の教育目標を掲げる。

- 1) ヒトゲノム解析の概念の理解、ゲノム情報に基づいた病態整理と疾患概念についての創造的な考察、遺伝子と細胞制御ならびに情報伝達制御を基盤として個々の病態に的確に反応する治療方法の開発と臨床応用の推進
- 2) 移植後の拒絶反応と臓器機能不全のメカニズムの理解とこれらの現象を制御する研究の推進
- 3) 病態機構の理解と特に腫瘍に焦点を当てた腫瘍の遺伝子治療や免疫治療の理解
- 4) 分子標的診断、治療の画像診断やPETなどの核医学診断を用いる新しい手法の理解
- 5) 統計学、疫学の系統的な学習と臨床研究の手法の理解
- 6) 医薬品の薬効評価、体内動態特性評価、高次機能を有する製剤化、適正使用など新規薬物療法の開発研究の推進

## ■機能再生・再建科学専攻

21世紀の医療は、高度高齢化社会の到来により必然的に自己治癒能力の低下した患者への対応が要求され、且つ生活の質 (quality of life) の向上という社会的要求にも応える責務がある。硬組織及び軟組織の損傷あるいは欠損を生じた場合、その組織の機能回復には自・他家の組織、または人工材料を用いるにしても組織再生・再建が必須である。そのためには組織の形成機構ならびに機能制御の本質を臓器・組織から分子レベルまで分析・熟知する必要がある。この専攻系は生体機能・形態を再生・再建の観点から基礎および臨床の面から総合的に研究し、新しい再生・再建医療のスペシャリスト養成を目指すとともに、同分野の専門医の養成も目標として掲げる。

この人材養成目的の実現を図るために、以下の教育目標を掲げる。

- 1) 細胞・組織の機能、構造について分子レベルから器官形成に至るまでの基礎研究と、それらに基づいた組織再生・再建への臨床応用研究の推進
- 2) 組織、器官別の生体材料開発と共に生体材料と生体の相互作用の解析ならびに患者の quality of life 向上を目指した臨床応用研究の推進
- 3) 生体の各領域が特異的に有する生命現象の多面的機能解析の推進
- 4) 生体が本来有する組織・器官の機能、形態の再生・再建制御機構の解析と臨床応用研究の推進
- 5) 口腔・顎・顔面領域特有の機能の多面的解析を行い、総合的な機能再生・再建研究の推進

## ■社会環境生命科学専攻

本専攻では、21世紀の医学・医療が抱える問題を人権擁護・生命倫理の観点から捉え、研究方法論の構築を通して解決の道を模索する。また、全ての人々に保証されるべき生命と健康を脅かす環境問題、地球温暖化に伴う医学的問題、並びに新興・再興感染症など、地球規模で取り組むべき課題への解決策を探求出来る、高度な専門的研究指向能力を備えた医療人を育成する。更に、確実に到来しつつある長寿社会における、社会構造並びに疾病構造の変化に対応した医学・医療を探索することが出来、健康の意味と尊厳ある生活とは何かを思考する人材の養成を目指す。

この人材養成目的の実現を図るために、以下の教育目標を掲げる。

- 1) 生命倫理（ないし医療倫理）についての理解
- 2) 生きる権利をも脅かす犯罪、事故(特に医療関連死)などに関する権利侵害と外的要因との医学的因果関係解明に必要な思考・方法論の修得
- 3) 生活環境や職場環境における微量化学物質曝露に対する、また、新興・再興感染症や薬剤耐性菌などに対する総合的な対策の理解
- 4) 従来 of 病気を発想の原点とする学問(disease-oriented concept)に対し、健康を発想の原点とする学問(health-oriented concept)の構築
- 5) 医療情報の特性、情報通信技術、医療情報システムについて学習し、システムとしての保健・医療を理解

## IX 教員組織と研究内容

H27.4.1現在

専攻	大 講 座	教育研究分野	指導教員	
生体制御科学専攻	生体機能制御学 分子から個体までの各レベルにおける生体機能の統合的解析, その異常の病態並びに制御法と治療への応用法の開発	細胞組織学	教授 大内 淑代	医学系
		人体構成学	教授 大塚 愛二	医学系
		システム生理学	教授 成瀬 恵治	医学系
		分子医化学	教授 大橋 俊孝	医学系
		循環器内科学	教授 伊藤 浩	医学系
		心臓血管外科学	教授 佐野 俊二	医学系
		麻酔・蘇生学	教授 森松 博史	医学系
		救急医学		医学系
	生体薬物制御学 生体の恒常性維持や疾病に関わる薬物療法の分子的基盤の解明, 及び疾患標的のバリデーションとそれらに基づく新規医薬品開発とその薬効・体内動態の解析	薬理学	教授 西堀 正洋	医学系
		歯科薬理学	教授 小崎 健一	歯学系
		衛生代謝制御学	教授 成松 鎮雄	薬学系
		生物情報機能学		薬学系
		薬効解析学	教授 上原 孝	薬学系
	脳神経制御学 脳神経機能の統合的解析と脳神経系疾患の病態解明, 診断並びに総合的制御に基づく治療法の開発	脳神経機構学	教授 浅沼 幹人	医学系
		細胞生理学	教授 松井 秀樹	医学系
		生化学	教授 竹居 孝二	医学系
		精神神経病態学	教授 山田 了士	医学系
		脳神経内科学	教授 阿部 康二	医学系
		脳神経外科学	教授 伊達 勲	医学系
	病態制御科学専攻	病態機構学 疾患発症の病態機構解明と細胞機能や情報伝達の制御を基盤とした細胞・臓器移植を含む先端の治療法の開発	病理学 (免疫病理)	教授 松川 昭博
細胞化学			(教授 松浦 栄次) (産学官連携センター)	医学系
消化器・肝臓内科学				医学系
腎・免疫・内分泌代謝内科学				医学系
小児医科学 (小児医科学領域)			教授 塚原 宏一	医学系
小児医科学 (発達神経病態学領域)			(准教授 吉永 治美)	医学系
皮膚科学			教授 岩月 啓氏	医学系
泌尿器病態学				医学系
産科・婦人科学			教授 平松 祐司	医学系
口腔病理学			教授 長塚 仁	歯学系
歯周病態学			教授 高柴 正悟	歯学系
腫瘍制御学 悪性腫瘍発症機構の研究と組織, 細胞及び分子レベルでの新しい診断法, 集学的治療法, 予防法の確立			病理学 (腫瘍病理)	教授 吉野 正
		免疫学	教授 鶴殿 平一郎	医学系
		腫瘍ウイルス学	教授 加藤 宣之	医学系
		分子腫瘍学 ※	准教授 片山 博志	医学系
		呼吸器・乳腺内分泌外科学	教授 三好 新一郎	医学系
		血液・腫瘍・呼吸器内科学	教授 谷本 光音	医学系
		放射線医学	教授 金澤 右	医学系
		消化器外科学	教授 藤原 俊義	医学系
		臨床遺伝子医療学	教授 豊岡 伸一	医学系
	口腔顎顔面外科学	教授 佐々木 朗	歯学系	
臨床応用薬学 医薬品に関わる臨床試験 (治験), 薬効や体内動態特性の評価, 高次機能を有する製剤化, 薬物療法の開発研究, 個々の疾患に関する病態生理及び薬物治療	歯科放射線学	教授 浅海 淳一	歯学系	
	臨床薬剤学	教授 千堂 年昭	医学系	
	製剤設計評価学	教授 黒崎 勇二	薬学系	
	医薬品安全性学	(准教授 根岸 友恵)	薬学系	
	"	(准教授 有元 佐賀恵)	薬学系	
	医薬品臨床評価学	教授 狩野 光伸	薬学系	
	臨床病態診断学	教授 小倉 俊郎	薬学系	
	"	教授 大西 勝	薬学系	
救急薬学	教授 名倉 弘哲	薬学系		

※この教育研究分野は, 准教授が独立して研究指導に当たります。



専攻	大 講 座	教育研究分野	指導教員	学系区分	
機能再生・再建科学専攻	生体機能再生・再建学 硬軟組織や神経等の生体組織再生医療の基盤的研究とそれらの研究成果を発展させた臨床応用法の開発	細胞生物学 ※	准教授 阪口 政清	医学系	
		耳鼻咽喉・頭頸部外科学	教授 西崎 和則	医学系	
		眼科学	教授 白神 史雄	医学系	
		整形外科学	教授 尾崎 敏文	医学系	
		形成再建外科学	教授 木股 敬裕	医学系	
		口腔生化学	教授 久保田 聡	歯学系	
		口腔形態学	教授 山本 敏男	歯学系	
		生体材料学	教授 松本 卓也	歯学系	
		歯科保存修復学	教授 吉山 昌宏	歯学系	
	口腔・顎・顔面機能再生制御学 人間の生活に密接に関わる口腔領域の特有な機能と疾病の多面的な解析, 健康とQOLの増進	口腔機能解剖学	教授 杉本 朋貞	歯学系	
		口腔生理学	教授 松尾 龍二	歯学系	
		インプラント再生補綴学	教授 窪木 拓男	歯学系	
		歯科矯正学	教授 上岡 寛	歯学系	
		顎口腔再建外科学	教授 飯田 征二	歯学系	
		咬合・有床義歯補綴学	教授 皆木 省吾	歯学系	
		歯科麻酔・特別支援歯学	教授 宮脇 卓也	歯学系	
	社会環境生命科学専攻	国際環境科学 環境における化学物質汚染や新興・再興感染症の問題の国際的な解決, 医療の国際化推進	病原細菌学	教授 松下 治	医学系
			病原ウイルス学	教授 山田 雅夫	医学系
口腔微生物学			教授 大原 直也	歯学系	
小児歯科学			教授 仲野 道代	歯学系	
衛生微生物化学			教授 三好 伸一	薬学系	
国際感染症制御学			(准教授 金 惠淑)	薬学系	
構造生物薬学			教授 山下 敦子	薬学系	
総合社会医科学 少子高齢化・高度情報化が急速に進展する今日の社会における健康増進, 疾病予防, 治療, 介護・福祉に関する社会医学的な研究及び実社会への応用		生命倫理学	教授 粟屋 剛	医学系	
		疫学・衛生学	教授 土居 弘幸	医学系	
		医療政策・医療経済学	教授 浜田 淳	医学系	
		公衆衛生学	教授 荻野 景規	医学系	
		法医学	教授 宮石 智	医学系	
		医療情報学	教授 合地 明	医学系	
		総合内科学	教授 大塚 文男	医学系	
		老年医学	教授 光延 文裕	医学系	
		総合歯科学	教授 鳥井 康弘	歯学系	
		予防歯科学	教授 森田 学	歯学系	

### 連携講座

連携機関	教育研究分野	教員
独立行政法人 理化学研究所 分子イメージング科学研究センター	分子イメージング科学	
国立感染症研究所	総合感染症学	客員教授 大石 和徳 客員教授 黒田 誠 客員教授 阿戸 学
独立行政法人 国立長寿医療研究センター	長寿医療科学	客員教授 新井 秀典 客員教授 角 保徳 客員准教授 大野 友久
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 (PMDA)	レギュラトリーサイエンス学	
岡山市立市民病院	実践総合診療学	客員教授 岸田 雅之
国立循環器病研究センター	総合循環器病学	客員教授 草野 研吾 客員教授 安田 聡 客員教授 安斉 俊久 客員教授 石原 正治 客員准教授 大郷 剛

### 【出願書類等の提出先について】

学系区分が「医学系」の指導教授の指導を希望する場合は、大学院担当（鹿田キャンパス 管理棟1階）へ提出してください。  
学系区分が「歯学系」の指導教授の指導を希望する場合は、歯学部担当（鹿田キャンパス 歯学部棟2階）へ提出してください。  
学系区分が「薬学系」の指導教授の指導を希望する場合は、薬学部教務学生担当（津島キャンパス）へ提出してください。

注1 医療政策・医療経済学分野を希望する場合は、事前に大学院担当にご相談ください。

注2 連携講座の教員から講義及び研究指導を受けることはできますが、この分野を教育研究分野とすることはできず、また、この分野の教員を指導教員とすることはできません。

# 教員組織と研究内容

## Department and Research Projects

### Biophysiological Sciences

### ○生体制御科学専攻

<p>教育研究分野 及び 連絡先 Department, HP Address, E-mail</p>	<p>指導教授 Professor</p>	<p>研究内容</p>	<p>Research Projects</p>	<p>学系区分 Faculty</p>
<p>細胞組織学 Cytology and Histology TEL 086-235-7083 <a href="http://square.umin.ac.jp/oka-anat/">http://square.umin.ac.jp/oka-anat/</a> hohuchi@okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 大内 淑代 Professor OHUCHI, Hideyo</p>	<p>1. 新型光受容器の細胞組織学的機能解析 2. 発生進化的アプローチによる再生の分子機構の解明 3. 腫瘍関連遺伝子および疾患関連遺伝子の生物学的・発生的役割の解明 4. 難治性脱髄疾患クラーベ病の新規治療法の開発 5. 進行性多発性白質脳症のマウスモデルを用いた新しい細胞死関連性石灰化因子の同定と解析 6. 骨疾患の治療法開発を目指した新しい細胞死関連性石灰化因子の同定と解析 7. 破骨細胞分化と骨リモデリングの分子機構の解明</p>	<p>1. Cellular, immunohistochemical, and functional analysis of vertebrate novel photoreceptors 2. Studies on molecular mechanisms of tissue regeneration via evo-devo approaches 3. Studies on biological and developmental functions of tumor-associated genes and disease-related genes 4. Developing therapeutic strategies for Krabbe disease 5. Understanding the pathobiology of progressive multifocal leukoencephalopathy 6. Identification and characterization of new factors on cell death-related calcification 7. Studies on molecular mechanisms of osteoclast differentiation and bone remodeling</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>人体構成学 Human Morphology TEL 086-235-7088 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/anatomy/hm/index.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/anatomy/hm/index.html</a> ajji@okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 大塚 愛二 Professor OHTSUKA, Aiji</p>	<p>1. 人体の諸器官とくに血管系の類型的分析 2. 脈管系の微細構造と分布様式 3. 中枢神経系の細胞外基質、特にプロテオグリカン 4. グリコカリックスの微細形態と機能 5. 基底膜の構造と機能：分子構成と発生 6. 軟骨破壊の病態解明とその制御 7. 清腫増殖機構の解明 8. 組織幹細胞の起源と実態 9. 組織幹細胞の機能破綻と疾患</p>	<p>1. Analysis of blood microvascular architecture of human organs: a scanning electron microscopic study of corrosion casts. 2. Analysis of fine structure and organization of vessels 3. ECM of central nervous system, a role of proteoglycan 4. Fine structure and function of glycocalyx 5. Structure and function of basement membrane : molecular structure and its roles in development 6. Mechanism of synovial cell proliferation and its regulation 7. Regulation of cartilage cell proliferation in inflammation 8. Developmental plasticity in mammalian ocular tissue 9. Molecular basis of tissue stem cells and cancer (stem) cells</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>システム生理学 Cardiovascular Physiology TEL 086-235-7112 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/phy2/index.htm">http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/phy2/index.htm</a> knaruse@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 成瀬 恵治 Professor NARUSE, Keiji</p>	<p>1. メカニカルストレス受容・応答機構 2. メカノレセプターのクロロニング・分子機構 3. 機械受容チャネルのパッチクランプを用いた解析 4. 心臓の機能とエネルギー解析 5. 心不全の分子メカニズム 6. メカニカルストレスと再生医療（骨・軟骨・心筋・皮膚） 7. 生殖補助医療（不妊治療） 8. 医学機器（平面パッチクランプ装置）の研究・開発 9. 脂質膜・タンパク質の粗視化分子動力学シミュレーション</p>	<p>1. Mechanotransduction 2. Cloning and identification of Mechanoreceptor 3. Patch clamp of stretch-activated channel 4. Cardiac function and energy analysis 5. Molecular mechanism of heart failure 6. Regenerative Medicine (bone, chondrocytes, heart, skin) 7. Infertility 8. R&amp;D of medical engineering devices (planar patch clamp device) 9. Coarse grained molecular dynamics simulation of lipid membranes and proteins</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>分子医化学 Molecular Biology and Biochemistry TEL 086-235-7127 <a href="http://www.okayama-u.mbb.jp/">http://www.okayama-u.mbb.jp/</a> oohashi@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 大橋 俊孝 Professor OOHASHI, Toshitaka</p>	<p>1. 脳の神経情報伝達を制御するペリニューロナルマトリック 2. 関節軟骨変性疾患のバイオイメージングと薬物標的化技術 3. 軟骨代謝・軟骨のメカノバイオロジー 4. 基底膜の構築・遺伝子発現・器形成と機能 5. 血液脳関門とアストロサイト/血管内皮細胞/マトリック構築 6. 骨髄損傷における細胞外マトリック 7. がん微小環境におけるマトリック分解酵素の果たす役割</p>	<p>1. Control of neural plasticity and conduction velocity by neural ECM 2. Molecular bio-imaging of articular cartilage and molecular-targeting for diagnosis/therapy in osteoarthritis 3. Cartilage Metabolism and mechanobiology of articular cartilage 4. Function and expression of basement membranes in development and disease 5. Function of basement membranes, astrocytes, and endothelial cells in blood-brain barrier 6. Extracellular matrix in the repair of spinal cord injury 7. Matrix metalloproteinase in the tumor microenvironment</p>	<p>医学 Med.</p>

<p>循環器内科学 Cardiovascular Medicine TEL 086-235-7346 <a href="http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~cardio/top.htm">http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~cardio/top.htm</a> itomd@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 伊藤 浩 Professor ITO, Hiroshi</p>	<p>1. 心不全の病態・分子学的機序の解明、治療法の開発 2. 心不全患者の遠隔診療システムの開発 3. 肺高血圧症の病態解明と新しい治療薬の開発 4. 動脈硬化の危険因子、機序の解明と新しい診断法、治療薬の開発 5. 不整脈の遺伝子機序の解明とカテーテル治療法の開発 6. 統合した循環器画像診断法の開発 7. 心筋再生医療、ベヘスメーカ細胞の開発 8. 成人先天性心疾患の統合的治療戦略の確立</p>	<p>1. Analysis of pathology and molecular mechanism of heart failure, and development of therapeutic approach. 2. Development of remote monitoring system to patients with heart failure. 3. Analysis of pathology of pulmonary hypertension and development of new therapeutic modality. 4. Analysis of new risk factors and molecular mechanisms of atherosclerosis and development of advanced therapeutic methods. 5. Analysis of genetic mechanism of arrhythmias and development of new therapeutic modality using catheter. 6. Development of integrated imaging. 7. Regeneration of cardiac cells and development of pace maker cells. 8. Establishment of integrated therapeutic approach to patients with adult congenital heart disease.</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>心臓血管外科 Cardiovascular Surgery TEL 086-235-7359 <a href="http://cvs.icn.jp/">http://cvs.icn.jp/</a> s_sano@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 佐野 俊二 Professor SANO, Shunji</p>	<p>1. 複雑心奇形の外科治療に関する研究 2. 新生児・乳児開心術に関する研究 3. 心筋保護に関する研究（特にチアノーゼ性心筋） 4. 開心術時、大動脈手術時における臓器保護に関する研究 5. Tissue engineering 法を用いた弁付導管、血管作製 6. 小児人工心臓の開発 7. 心筋再生治療の研究</p>	<p>1. Research of surgical treatment of complex congenital heart disease 2. Research of neonatal and infantile open heart surgery 3. Research of myocardial protection for cyanotic myocardium 4. Research of organ protection in major cardiovascular surgery 5. Research of heart and heart &amp; lung transplantation 6. Development of valved conduit and vascular graft with tissue engineering method 7. Development of pediatric artificial heart 8. Cardiac stem cell therapy for heart failure</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>麻酔・蘇生学 Asesthesiology and Resuscitology TEL 086-235-7324 <a href="http://okadamasui.com">http://okadamasui.com</a> morima:h@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 森松 博史 Professor MORIMATSU, Hiroshi</p>	<p>1. 多臓器不全の病態の解明と治療に関する研究 (1) 侵襲によるサイトカインの変動の解明 (2) 侵襲に対するヘムの役割の解明 2. 臓器不全の予防と治療に関する分子生物学的研究 (1) 心臓停止蘇生後の脳障害に関する研究 (2) 脳蘇生に対する高気圧治療法の神経生理学的研究 (3) 脳低温治療の開発 3. 疼痛の機序および治療に関する研究 4. 麻酔・集中治療・ペインクリニックに関する臨床研究</p>	<p>1. Study on elucidation of pathophysiology and therapy of multiple organ failure 1) Elucidation of cytokine fluctuation in response to invasion 2) Elucidation of functional role of heme against invasion 3) Molecular biological study on prevention and therapy of organ failure 2. Study on encephalopathy after resuscitation from cardiac arrest 1) Neurophysiological study on cerebral function after ischemia reperfusion 2) Neurophysiological study on hyperbaric therapy for brain resuscitation 3) Development of cerebral hypothermia 3. Study on mechanisms and management of pain 4. Clinical Research relating to Anesthesiology, Intensive Care, and Pain Medicine</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>救急医学 Emergency &amp; Critical Care Medicine TEL 086-235-7426 <a href="http://qq.umin.jp/">http://qq.umin.jp/</a> ujike@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 西堀 正洋 Professor NISHIBORI, Masahiro</p>	<p>1. 救急医療システムの科学的検証と構築 2. 災害医療システムの科学的検証と構築 3. 侵襲に対する生体内防御機構と制御 4. 各種機械補助の効果と生体侵襲 5. 各種救命救急処置の開発と有効性の検討</p>	<p>1. Evaluation &amp; Development of Emergency Medical System 2. Evaluation &amp; Development of Disaster Medical System 3. Investigation of Biological Response and Defence Mechanism for Insult 4. Evaluation of Effect and Adverse Effect by Mechanical Supports 5. Evaluation &amp; Development of Critical Care Methods</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>薬理学 Pharmacology TEL 086-235-7140 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/pharmaco/">http://www.okayama-u.ac.jp/user/pharmaco/</a> mbori@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 西堀 正洋 Professor NISHIBORI, Masahiro</p>	<p>1. 炎症病態の解明による創薬 2. 単クローン抗体を用いた疾患標的バリダーション 3. AGE-RAGE系の疾患病態における意義の解明 4. エンドトキシン血症病態の解明と治療法の開発研究 5. 脳血管障害(脳梗塞, クモ膜下出血, 脳脊髄外傷, パーキンソン病, アルツハイマー病)に対する治療薬開発 6. Neurovascular unit 障害の解明 7. HRGの分子機能解明と創薬研究と新規DAMPの同定 8. 遺伝子改変動物を用いたヒスタミンの機能解明 9. オートファゴソームによる Neuroimmunomodulation 形成調節の解明</p>	<p>1. Drug development by analysing inflammatory processes 2. Target validation by mAb against inflammatory factors 3. Analysis on the role of AGE-RAGE system in inflammatory disease 4. Development of drugs for brain infarction, brain trauma, spinal cord injury and neuropathic pain 5. Drug development targeting HRC and identification of novel DAMPs 6. Analysis of histamine function 7. Study on pathogenesis of sepsis, ARDS and multiple organ failure and development of specific drugs for them</p>	<p>医学 Med.</p>

<p>歯科薬理学 Dental Pharmacology TEL 086-235-6660 <a href="http://www.dent.okayama-u.ac.jp/yakuri/index_sc_j.html">http://www.dent.okayama-u.ac.jp/yakuri/index_sc_j.html</a> ken-1@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 小崎 健一 Professor KOZAKI, Ken-ichi</p>	<p>1. 癌抑制遺伝子型microRNAの機能ゲノム学的スクリーニングと核酸医薬への応用 2. 癌細胞の病態特異的DNAメチル化異常による悪性形質獲得機構の解明 3. 神経伝達物質トランスポーターの構造・機能・発現に関する研究 4. 個別化医療のための診断, 治療, 予防法の開発</p>	<p>1. Functional genomics-based approach for identification of tumor-suppressive microRNAs having potential as therapeutic agents for cancer 2. Discovery of aberrant DNA methylation specific to pathophysiological conditions during multistep processes with the acquisition of malignant properties in cancer cells 3. Analysis of the regulatory mechanism for the oral function by neuronal factors 4. Investigation of structure, function and regulated expression of the neurotransmitter transporters 5. Technology development for the diagnosis, treatment, and prevention for the implementation of personalized medicine</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>衛生代謝制御学 Health Chemistry TEL 086-251-7492 shizuo@pharm.okayama-u.ac.jp</p> <p>生物情報機能学 Functional Biomformation TEL 086-251-7945 <a href="http://pharm.okayama-u.ac.jp/lab/hinka/home.html">http://pharm.okayama-u.ac.jp/lab/hinka/home.html</a></p>	<p>教授 成松 鎮雄 Professor NARIMATSU, Shizuo</p>	<p>1. 医薬品の副作用発現の分子機構 2. 霊長類の薬物代謝酵素の比較生化学 3. 薬物代謝酵素による光学活性医薬品の立体選択的代謝機構 4. 薬物代謝酵素の遺伝子多型性と酵素機能との関連性 5. 乱用性薬物の代謝と毒性の関連性</p>	<p>1. Molecular mechanism causing adverse effects of medicines 2. Comparative biochemistry on drug-metabolizing enzymes of the primates 3. Mechanisms for regio- and stereochemistry in the metabolism of optically active drugs 4. Relationship between genetic polymorphism and functions of drug-metabolizing enzymes 5. Relationship between metabolism and toxicity of drugs of abuse</p>	<p>薬学 Pharm.</p>
<p>薬効解析学 Medicinal Pharmacology TEL 086-251-7939 <a href="http://pharm.okayama-u.ac.jp/lab/yakuri/Uehara_Lab/Welcome.html">http://pharm.okayama-u.ac.jp/lab/yakuri/Uehara_Lab/Welcome.html</a> uehara@pharm.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 上原 孝 Professor UEHARA, Takashi</p>	<p>1. 病態形成に関わる新規S-ニトロシル化 (酸化) 蛋白質の同定 2. 生体内ラジカルガスによる蛋白質修飾反応と機能変化 3. 特異的酸化修飾部位認識抗体による神経変性疾患診断への応用 4. 分子特異的な抗酸化薬の評価系構築探索と病態モデルへの適用 5. 変性蛋白質蓄積による小胞体ストレスを介した神経細胞死惹起機構</p>	<p>1. Isolation of novel S-nitrosylated proteins 2. Regulatory mechanism of protein function by nitrosylation/oxidation 3. Development of several tools for detection of oxidized proteins 4. Screening for chemical candidates (new type of anti-oxidant) 5. Relationship between ER stress and neurodegenerative diseases</p>	<p>薬学 Pharm.</p>
<p>脳神経機構学 Medical Neurobiology TEL 086-235-7096 <a href="http://nbgp.med.okayama-u.ac.jp/asachan@cc.okayama-u.ac.jp">http://nbgp.med.okayama-u.ac.jp/asachan@cc.okayama-u.ac.jp</a></p>	<p>教授 浅沼 幹人 Professor ASANUMA, Masato</p>	<p>1. グリア細胞の部位特異的プロファイルがもたらす脳内環境と神経保護 2. 神経外脳内環境を標的とした疾患モデルを用いた新規神経保護方策の開発 3. 神経細胞の遺伝子発現制御と脳神経疾患 4. DNAトポイソメラーゼIIとクロマチンダイナミクス 5. 超らせんDNA結合タンパク質の分子機能解析</p>	<p>1. Brain environment and neuroprotection based on region-specific features of glial cells 2. Neuroprotection for neurological disorders targeted on non-neuronal brain environment 3. Regulation of neuronal cell gene expression 4. Chromatin dynamics and DNA topoisomerase II 5. Molecular analysis of supercoiled DNA binding proteins</p>	<p>医学 Med.</p>

<p>細胞生理学 Cellular Physiology (Neurooncology and Neurophysiology) TEL 086-235-7104 <a href="http://seiri1.med.okayama-u.ac.jp/">http://seiri1.med.okayama-u.ac.jp/</a> matsuihi@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 松井 秀樹 Professor MATSUI, Hideki</p>	<p>1. タンパク質セラピュー法の開発と臨床応用への研究 (特に悪性腫瘍を標的として) 2. 悪性脳腫瘍や卵巣がんを標的化する中性子捕足療法の開発 3. 中枢神経シナプス伝達分子メカニズムの解明 4. 脳内ホルモン・オキシトシンによる情動制御メカニズムの解明</p>	<p>1. Clinical Application of Nano-Targeting Protein Transduction (Protein Therapy) 2. Development of Novel Tumor-Targeting Agents for Boron Neutron Capture Therapy (BNCT) 3. Molecular mechanisms of synaptic transmission 4. Physiological role of Oxytocin as a brain hormone</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>生化学 Biochemistry TEL 086-235-7120 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/biochem/index11.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/biochem/index11.html</a> kohji@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 竹居 孝二 Professor TAKEI, Kohji</p>	<p>1. メンブレンドライナミクス (生体膜の動態) の分子機構 1) 細胞内膜輸送 (エンドサイトーシス, エンドソームの分子選別) の機構 2) 細胞骨格 (アクチン, 微小管) の制御機構 メンブレンドライナミクスと細胞機能, 病態 1) 神経シナプス伝達におけるアクチン制御 2) 神経突起形成におけるアクチン制御 3) がん細胞の非化浸潤におけるアクチン制御 4) がん細胞の非化浸潤におけるアクチン制御 5) 癌化シグナル伝達における細胞内膜輸送 6) 精子成熟における食作用 7) エイズウイルスの免疫回避機構と細胞内膜輸送 3. 代謝ネットワークの構造と機能</p>	<p>1. Cancer cell invasion and cell migration and 2. Neuronal differentiation and neurite formation 3. Regulation of cytoskeletal dynamics (actin and tubulin) 4. Membrane traffic and membrane dynamics of the cell 5. Membrane traffic at Endosomes 6. Endosomal sorting and HIV virus infection</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>精神神経病態学 Neuropsychiatry TEL 086-235-7239 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/psychiatry/index.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/psychiatry/index.html</a> uchitomi@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 山田 了士 Professor YAMADA, Norihito</p>	<p>1. 致死的病患 (がんなど) と向き合う患者・家族 (遺族) に生じるストレスおよびせん妄のリエゾン精神医学的・神経科学的研究 2. 統合失調症および内因性疾患の臨床精神医学的・分子生物学的研究 3. 認知症の臨床精神医学的・神経病理学的研究 4. 気分障害の臨床精神医学的・分子生物学的研究 5. 摂食障害の臨床精神医学的研究 6. 性同一障害の臨床精神医学的研究</p>	<p>1. Psycho-Oncology and Consultation-Liaison Psychiatry 2. Molecular Biology and Clinical Research of Schizophrenia 3. Neuropathological and Clinical Research of Dementia 4. Clinical Research of Depression 5. Clinical Research of Eating Disorder 6. Clinical Research of Gender Identity Disorder</p>	<p>医学 Med.</p>

<p>脳神経内科学 Neurology TEL 086-235-7365 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/shinkeinaika/index.htm">http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/shinkeinaika/index.htm</a> abekabek@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 阿部 康二 Professor ABE, Koji</p>	<p>1. 脳卒中の臨床的基礎的研究 (1) 脳梗塞の病態解明と治療法確立 (臨床的研究) (2) 脳梗塞の光イメージング (臨床的研究) (3) 脳梗塞の分子イメージング (臨床的研究) (4) 脳梗塞とメタボリック症候群の臨床的関連研究 (臨床的研究) (5) 脳梗塞とメタボリック症候群の基礎的関連研究 (基礎的研究) (6) 神経幹細胞を用いた脳梗塞の再生医療 (基礎的研究) (7) iPS細胞を用いた脳梗塞の再生医療 (基礎的研究) (8) ウイルスベクターを用いた脳梗塞の再生医療 (基礎的研究) 2. 認知症の臨床的基礎的研究 (1) アルツハイマー病の病態解明と治療法確立 (臨床的研究) (2) 認知症の神経心理学的研究 (臨床的研究) (3) 認知症の脳画像診断研究 (臨床的研究) (4) アルツハイマー病の臨床工学的病態解明 (臨床的研究) (5) アルツハイマー病モデルマウスを用いた病態解明と治療法開発 (基礎的研究) (6) アルツハイマー病とメタボリック症候群の臨床的関連研究 (臨床的研究) (7) アルツハイマー病とメタボリック症候群の基礎的関連研究 (基礎的研究) (8) アルツハイマー病の新薬治療 (臨床的研究) 3. 神経変性疾患の臨床的基礎的研究 (1) パーキンソン病の臨床的基礎的研究 (臨床的研究) (2) 筋萎縮性側索硬化症の臨床的基礎的研究 (臨床的研究) (3) 神経変性疾患の脳画像科学解析 (臨床的研究) (4) 神経変性疾患の分子イメージング診断 (臨床的研究) (5) 神経変性疾患の再生医療開発 (臨床的研究) 4. 生活習慣病・メタボリック症候群と神経内科疾患の臨床的基礎的研究 (1) 生活習慣病・メタボリック症候群と認知症 (臨床的基礎的研究) (2) 生活習慣病・メタボリック症候群のモデルマウス研究 (基礎的研究) (3) 生活習慣病・メタボリック症候群の新薬治療 (臨床的研究)</p>	<p>1. Gene and stem cell therapy for ischemic stroke, 2. Neuroprotection for ischemic stroke, 3. In vivo optical neuroimaging for neurological diseases, 4. In vivo nano-particle therapy for stroke, 5. gene and stem cell therapy for neurodegenerative diseases, 6. Alzheimer's diseases and metabolic syndrome with mouse model, 7. Clinical neuroimaging with MRI, MEG, PET and SPECT, 8. Clinical study for neuroimmunological diseases, 9. iPS cell transplantation for stroke model, 10. Clinical analysis of Alzheimer disease with new drug</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>脳神経外科学 Department of Neurological Surgery TEL 086-235-7336 <a href="http://neuro.hospital.okayama-u.ac.jp/">http://neuro.hospital.okayama-u.ac.jp/</a> idate333@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 伊達 勲 Professor DATE, Isao</p>	<p>1. 中枢神経系疾患に対する細胞療法 2. 中枢神経系疾患に対する電気刺激療法 3. 中枢神経系疾患に対する神経保護効果を目指した薬物療法 4. パーキンソン病の臨床研究 5. 悪性グリア・マーマの浸潤と血管新生の病態解明 6. 脳腫瘍に対する遺伝子治療・ウイルス療法 7. 悪性グリア・マーマの分子イメージング解析 8. くも膜下出血後の頭蓋内病態の解析 9. くも膜下出血における血管新生強化療法 10. 支援システムを駆使した脳血管内治療</p>	<p>1. Cell therapy for the central nervous system disorders 2. Electrical stimulation for the central nervous system disorders 3. Neuroprotective effects of potential drugs on the central nervous disorders 4. Clinical study for Parkinson's disease 5. Analysis of invasion and angiogenesis in malignant glioma 6. Gene therapy and oncolytic viral therapy for brain tumor 7. Molecular analysis of glioma biomarkers 8. Pathophysiology of intracranial environment after aneurysmal subarachnoid hemorrhage 9. Treatment to enhance angiogenesis in moyamoya disease 10. Neuroendovascular therapy with multi-modality support systems</p>	

○病態制御科学専攻

Biopathological Sciences		研究内容	Research Projects	学系区分 Faculty
<p>教育研究分野 及び 連絡先 Department, HP Address, E-mail 病理学 (免疫病理) Pathology and Experimental Medicine TEL 086-235-7141 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/byouri/pathology-1/HOME.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/byouri/pathology-1/HOME.html</a> amatsu@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>指導教授 Professor 教授 松川 昭博 Professor MATSUKAWA, Akihiro</p>	<p>1. 炎症・炎症性疾患の分子基盤解明 2. 炎症とがん 3. サイトカイン・ケモカインと疾患 4. 炎症とサイトカイン情報伝達 5. 敗血症の病態解明 6. インフルエンザ感染とエボラウイルス制御 7. 除菌を用いた新しいがん治療法の開発</p>	<p>1. Molecular mechanism of Inflammation and Inflammatory diseases 2. Inflammation and cancer 3. Role of cytokines and chemokines in health and disease 4. Cytokine signal transduction in inflammation 5. Molecular analysis of sepsis and septic shock 6. H1N1 influenza and its epigenetic regulation 7. New strategy for cancer treatment focused on iron removal</p>	<p>医学 Med.</p>

<p>細胞化学 Cell Chemistry (Collaborative Research Center) TEL 086-235-7402 http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/cellchem/index.html (http://www.crc.okayama-u.ac.jp) ejimat@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>(教) 授 松浦 栄次 (産学官連携センター)  Professor MATSUURA, Eiji</p>	<p>1. 動脈硬化, 抗リン脂質抗体症候群の病態生化学の研究 2. 分子イメージングによる動脈硬化・がんの新規標的医療技術の開発研究 3. ホルモンによるがん治療法の分子機構の解析 4. 生体におけるミトコンドリア新生のメカニズムと生理的意義</p>	<p>1. Pathological biochemical study of atherosclerosis and antiphospholipid syndrome 2. Development of the new target medical technique for atherosclerosis and cancer using molecular imaging 3. Molecular mechanism of porphyrin-mediated cancer therapy 4. The mechanism of mitochondrial biogenesis and physiological significance</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>消化器・肝臓内科学 Gastroenterology and Hepatology TEL 086-235-7216 http://med-gakkai.com/gastro/ichinai/</p>		<p>1. 肝炎 (B型, C型など) の慢性化機序の解明と治療法の開発 2. 肝癌の発生機序と発癌防止の分子遺伝学的治療に関する研究 3. 自己免疫性肝疾患の発症機序と治療法の開発 4. 炎症性腸疾患 (クローン病, 潰瘍性大腸炎) の発症機序と治療法の開発・研究 5. 胆臓癌 (食道・胃・大腸・胆膵) に対する内視鏡的治療法の開発 7. H.pyloriの分子生物学と病態生理 8. 大腸癌の基礎・臨床研究 9. 肝細胞癌に対する治療成績の向上と新しい治療法の開発 10. 消化器分子生物学</p>	<p>1. Investigation of the mechanism of chronicity and development of the novel therapy in viral hepatitis (HBV and HCV) 2. Investigation of the molecular genetic mechanism and development of the new therapy in hepatocellular carcinoma 3. Investigation of the pathogenesis of autoimmune hepatitis and development of its novel therapy 4. Investigation of the pathogenesis of inflammatory bowel disease (Chronic disease and ulcerative colitis) and development of its novel therapy 5. Establishment of the early diagnosis and improvement of the prognosis in biliary and pancreatic cancer 6. Development of new endoscopic surgery in gastroenterological cancer 7. Investigation of molecular mechanism and pathogenesis in H.pylori infection 8. Basic and clinical investigation of colon cancer 9. Improvement of the treatment outcomes and development of the new therapy in hepatocellular carcinoma 10. Molecular biology in gastroenterology and hepatology</p>	<p>医学 Med.</p>

<p>腎・免疫・内分泌代謝内科学 Medicine and Clinical Science TEL 086-235-7232 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/daisan/index.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/daisan/index.html</a> sannai@cc.okayama-u.ac.jp</p>		<p>1. 糖尿病と糖尿病合併症の発症機構の解明と新しい治療法の開発 2. IgA腎症の成因解明と新規治療法の開発 3. 腎再生へむけて：ネフロン構造再構築及びそれに伴う幹細胞の研究 4. 急性腎障害(AKI)発症および重症化予知バイオマーカーの検討 5. 血管新生関連因子調節を介した腎臓萎縮抑制治療法の開発 6. 自己免疫疾患の成立・進展機構の解明(SLE) 7. 血管作動物質による血圧調節機構及び高血圧の発症・進展機構の解明 8. 骨形成蛋白(BMP)による内分泌調節機構の解明と臨床応用 9. 動脈硬化の成因の解明と治療法の開発 10. 大動脈瘤の成因及び進展機序の解明と治療的試み 11. 1. 腹膜硬化症進展機序の解明と治療的試み 12. 1. 腹膜透析に関する再生療法と新たな腹膜機能評価法の開発 13. 1. 3. 診療行動の解析に基づいた自己免疫疾患治療プロトコル作成システムの開発</p>	<p>1. Investigation of the pathogenesis of diabetes and its complications and development of new therapeutic strategies 2. Elucidation of the pathogenesis of IgA nephropathy and development of its novel therapy 3. Kidney regeneration: Investigation of the mechanism between renal stem/progenitor cell and development/regeneration 4. Investigation of acute kidney injury and prognostic biomarkers 5. Development of therapeutics to suppress the progression of renal injuries via regulating angiogenesis-associated factors 6. Exploration for the pathogenesis of autoimmune diseases (SLE) 7. Investigation of the developmental mechanism of hypertension and hypertensive organ damages induced by vasoactive factors 8. Exploration of the mechanism of endocrine regulation by BMPs and its clinical application 9. Investigation of the mechanism of atherosclerosis and approach to a new therapeutic strategy 10. Exploration of the mechanism of aortic aneurysm and establishment of a new therapeutic strategy 11. Therapeutic strategies and identification of the mechanisms for peritoneal sclerosis 12. Peritoneal regeneration for peritoneal dialysis: Exploitation cell therapy to protect peritoneal sclerosis on peritoneal dialysis patients and clinical application of new diagnostic methods of peritoneal functions 13. Derivation and validation Study of treatment protocol based on practice pattern in patients with autoimmune disease</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>小児医科学 (小児医科学領域) Pediatrics TEL 086-235-7247 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/pedhome/index.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/pedhome/index.html</a> tsukah-h@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 塚原 宏一 Professor TSUKAHARA, Hirokazu</p>	<p>1. 中枢神経ウイルス感染症の宿主側発症因子および病態解析と治療法の確立 2. 小児炎症疾患における病態解析とそれに基づく新規治療法開発の試み 3. 先天性心疾患の非観血的治療法と再生医学療法に関する研究 4. 小児がんの遺伝子診断と造血幹細胞移植に関する研究 5. 骨系疾患の遺伝子解析に基づく新しい治療法の確立 6. 腎系疾患における病態解析とそれに基づく新規治療法開発の試み 7. 思春期発来機構の解明と成長における成長因子の役割 8. ハベリスク身症(特に不登校、神経性食不摂食)の病因の解明と新しい治療法の確立 9. ハベリスク新生児の管理向上と長期予後改善に関する研究 10. 周産期における酸化ストレスの病態に関する研究</p>	<p>1. Viral encephalitis: biological responses, pathophysiological analysis, therapeutic strategies 2. Inflammatory disorders: pathophysiological analysis, therapeutic strategies 3. Congenital cardiac defects: non-operative interventions, regenerative medicine 4. Pediatric cancer: genetic analysis, hematopoietic stem cell implantation 5. Metabolic bone disorders: genetic analysis, therapeutic strategies 6. Renal and urinary tract disorders: pathophysiological analysis, therapeutic strategies 7. Adolescent medicine: mechanism of puberty, various growth factors 8. Psychosomatic medicine: school non-attendance, anorexia nervosa, integrated strategies 9. High-risk infants: critical care, management for better outcome 10. Perinatal medicine: oxidative stress related disorders, therapeutic strategies</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>小児医科学 (発達神経病態学領域) Child Neurology TEL 086-235-7372 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/cneuro/">http://www.okayama-u.ac.jp/user/cneuro/</a> cneuro@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>(准教授 吉永 治美) Associate Professor YOSHINAGA, Harumi</p>	<p>1. てんかん外科の成績改善に向けた頭皮上・頭蓋内脳波バイオマーカーの探索 2. 小児てんかん性脳症の認知機能障害に關わる異常高周波脳活動の研究 3. 頭蓋MRI画像のコンピュータ解析によるてんかん原性病変の発見率向上 4. 小児の髄液中神経伝達物質の測定 5. クレアチン代謝異常常症の早期診断法と治療法の確立 6. 小児神経疾患における薬酸受容体自己抗体の意義 7. 脳波によるバイオフィードバック療法の認知過程への影響</p>	<p>1. Biomarkers in scalp and intracranial electroencephalography to improve seizure outcome after epilepsy surgery 2. High-frequency oscillations in electroencephalography associated with cognitive dysfunction in pediatric epileptic encephalopathy 3. Detection of epileptogenic lesions in brain MRI by computerized analysis 4. Neurotransmitters in cerebrospinal fluid in children 5. Early diagnosis and treatment for creatine metabolism disorders 6. Autoantibodies against folate receptor in pediatric neurological disorders 7. Effect of electroencephalographic biofeedback on cognitive processing</p>	<p>医学 Med.</p>



<p>皮膚科学 Dermatology TEL 086-235-7282 <a href="http://www.okayama-hihuka.jp/">http://www.okayama-hihuka.jp/</a> keijiwa@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 岩月 啓氏 Professor IWATSUKI, Keiji</p>	<p>1. 皮膚における免疫現象の解析 2. ヘルペスウイルス関連皮膚疾患の病態解明 3. 表皮ケラチンサイトの分化と角化異常の解明 4. 自己免疫性皮膚疾患の病態解明 5. 皮膚リンパ腫の病態解明 6. 皮膚細菌感染症と抗菌ペプチド</p>	<p>1. Immune reactions in the skin 2. Herpesvirus-associated skin diseases 3. Epidermal differentiation and disorders of keratinization 4. Autoimmune skin diseases 5. Cutaneous lymphomas 6. Cutaneous bacterial infections and antimicrobial peptides</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>泌尿器病態学 Urology TEL 086-235-7284 <a href="http://www.uro.jp/okayama/">http://www.uro.jp/okayama/</a> uro2@md.okayama-u.ac.jp</p>		<p>1. 前立腺癌・腎癌に対する遺伝子・細胞治療の基礎的・臨床的研究 2. 尿路上皮癌に対する標的治療の開発, 研究 3. 尿管癌における抗癌剤耐性に関する研究 4. アニマルモデルを用いた低侵襲治療の開発研究 5. iPS細胞を用いた尿道括約筋機能再生のための基礎的研究 6. 超音波カラードプラ法を用いたクリトリリス血流の評価: 骨盤手術による影響 7. 女性泌尿器科疾患患者における性機能調査 8. BPH, OAB患者における新しいハイオオマーカ―としての尿中NGFに関する研究 9. 性ホルモン投与による性同一性障害患者の身体的生化学的変化の臨床研究 10. 性機能に関する脳機能局在の解析 11. 性ホルモンの代謝機能への影響に関する臨床的研究 12. 腎移植時の虚血再灌流障害の研究 13. 難治性尿路性器感染症の分子イメージングによる解析と薬剤投与方法の解析 14. 薬剤耐性菌による尿路バイオフィーム感染症に対する治療法の確立 15. 尿路性器感染症における薬剤耐性菌の遺伝子解析と予防・治療法に関する研究 16. 性感症の原因微生物の探索研究と疫学調査</p>	<p>1. Gene and cell therapy for prostate cancer and renal cancer 2. Development of targeted therapy for urothelial carcinoma 3. Analysis of anti-cancer drug resistance in urological cancer 4. Clinical development of minimum invasive therapy using animal model 5. Tissue engineering using iPS in the treatment of urologic dysfunction 6. Evaluation of clitoral blood flow changes after female pelvic surgery 7. Survey of sexual function in patients with pelvic organ prolapse and overactive bladder 8. Analysis of urinary NGF level in patients with BPH, CP/CPPS, and OAB 9. Hormonal therapy for Gender Identity Disorder (GID) 10. Brain functional localization related to sexual function 11. Sex hormone &amp; Metabolism 12. Ischemia reperfusion injury in kidney transplant 13. Molecular Imaging for Intractable Urinary Tract Infection 14. Biofilms, Urinary Tract Infections and Antimicrobial Agents 15. Analysis of Drug-resistant Pathogens in Genitorinry Tract Infection 16. Sexually Transmitted Infection</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>産科・婦人科学 Obstetrics and Gynecology TEL 086-235-7317 <a href="http://www.okayama-u-obgyn.jp/">http://www.okayama-u-obgyn.jp/</a> kiki1063@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 平松 祐司 Professor HIRAMATSU, Yuji</p>	<p>1. 妊娠糖尿病と妊娠高血圧症候群の病態解析と次世代への影響 2. 出生前診断 3. 胚内受容体の分子内分泌学的検討-特に周産期, 悪性腫瘍- 4. 悪性腫瘍の遺伝子解析 5. 婦人科腫瘍と耐糖能異常 6. 悪性腫瘍の遺伝子解析 7. 悪性腫瘍患者のOOLに関する研究 8. 不育症・習慣流産に関する研究 9. 子宮内膜症・子宮腺筋症に関する研究 10. 多嚢胞性卵巣症候群に関する研究 11. 女性悪性腫瘍患者の妊娠能温存に関する研究 12. 月経閉症候群に関する研究 13. 性同一性障害に関する研究</p>	<p>1. Diabetic pregnancy &amp; Preeclampsia and those effect on next generation 2. Perinatal diagnosis 3. Nuclear receptors in perinatal medicine and oncology 4. Gene analyses of gynecological malignancies 5. Gynecological malignancies &amp; diabetes 6. Gene analyses of gynecological malignancies 7. Quality of life of gynecological malignancy patients 8. Recurrent pregnancy loss (RPL) 9. Endometriosis and adenomyosis 10. Polycystic ovary syndrome 11. Oncofertility / Fertility preservation 12. Premenstrual syndrome (PMS) 13. Gender identity disorder (GID)</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>口腔病理学 Oral Pathology and Medicine TEL 086-235-6651 <a href="http://www.dent.okayama-u.ac.jp/hyouri/jin@md.okayama-u.ac.jp">http://www.dent.okayama-u.ac.jp/hyouri/</a> jin@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 長塚 仁 Professor NAGATSUKA, Hitoshi</p>	<p>1. 口腔癌の癌および癌抑制遺伝子解析 2. 歯肉性腫瘍の病理発生・病態機能解明に関する研究 3. 歯肉性腫瘍の外科病理と免疫組織化学的, 分子病理学的研究 4. 幹細胞を用いた歯牙・骨組織再生に関する分子細胞学的研究 5. 骨髄由来細胞の細胞分化および機能に関する研究</p>	<p>1. Gene analyses on oncogenes and tumor suppressor genes in oral cancers 2. Molecular pathology of odontogenic tumors 3. Surgical pathology in oral region and its immunohistochemical and molecular analyses 4. Molecular cell biology in bone/tooth development induced by embryonic stem cell (ES cell) and BMP 5. Analyses on cell differentiation and its function of bone marrow-derived cells</p>	<p>歯学 Dent.</p>

<p>歯周病態学 Periodontal Science TEL 086-235-6675 <a href="http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/bind2/index.html">http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/bind2/index.html</a> stakashi@okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 高柴 正悟 Professor TAKASHIBA, Shogo</p>	<p>1. 歯周・歯内疾患の病因に関する細菌学的、免疫学的及び分子細胞生物学的な基礎及び臨床研究 2. 歯周病の発症前診断と遺伝子診断の研究 3. 歯の移植と歯周組織再生の研究 4. 感染制御、免疫制御および組織再生に関わる局所的な遺伝子・サイトカイン・細胞治療の研究 5. 局所慢性炎症の全身への影響に関する研究 (ペリオドンタルメディスン研究)</p>	<p>1. Microbiological, immunological, and molecular and cellular biological research on pathogenesis of periodontal disease and endodontic disease 2. Presymptomatic and genetic diagnosis for periodontal disease 3. Tooth transplantation and regeneration of periodontal tissue 4. Local gene therapy, cytokine therapy, and cell therapy for infection control, immunomodulation, tissue regeneration 5. Periodontal medicine: Systemic effects of local chronic inflammation</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>病理学 (腫瘍病理) Pathology and Oncology TEL 086-235-7149 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/path/index.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/path/index.html</a> yoshino@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 吉野 正 Professor YOSHINO, Tadashi</p>	<p>1. 悪性リンパ腫の臨床病理 2. IgG4関連疾患 3. 濾胞性リンパ腫、特に節外性病変の研究 4. MALTリンパ腫の発生病理 5. 成人T細胞性白血病/リンパ腫の分子病理</p>	<p>1. Clinicopathology of malignant lymphomas 2. Pathology of the IgG4-related diseases 3. Follicular lymphomas of the nodal and extranodal ones. 4. Pathogenesis of the MALT lymphomas 5. Molecular pathology of ATLL.</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>免疫学 Immunology TEL 086-235-7187 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/immuno/">http://www.okayama-u.ac.jp/user/immuno/</a> udono@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 棚殿 平一郎 Professor UDONO, Heichiro</p>	<p>1. がん抗原の解析 (1) 抗原遺伝子の解析 (2) T細胞認識抗原ペプチドの解析 2. 抗腫瘍免疫応答の細胞性機構 3. がんワクチンの開発 4. 抗原提示機構の研究 5. 免疫療法の開発</p>	<p>1. Analysis of tumor antigens (1) Gene structure of tumor antigens (2) Antigen peptides recognized by cancer-specific T lymphocytes 2. Effector mechanism of anti-cancer immunity 3. Development of cancer vaccine comprising heat shock proteins and tumor antigen peptides 4. Analysis of antigen processing and presentation by MHC molecules 5. Reversion of exhausted T cells in tumor microenvironment and development of cancer immunotherapy</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>腫瘍ウイルス学 Tumor Virology TEL 086-235-7385 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/dmb/index.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/dmb/index.html</a> nkato@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 加藤 宣之 Professor KATO, Nobuyuki</p>	<p>1. C型肝炎ウイルスの複製増殖機構の解析 2. C型肝炎ウイルスによる肝発がんの分子機構の解析 3. 肝炎の治療法及び肝発がんの抑制法の開発 4. インターフェロンなどの抗ウイルス作用機序の解析 5. C型肝炎ウイルスによる自然免疫攪乱機構の解析 6. B型肝炎ウイルスの複製増殖機構の解析 7. B型肝炎ウイルスによる自然免疫攪乱機構の解析</p>	<p>1. Analysis of the mechanisms of hepatitis C virus replication 2. Analysis of the molecular mechanisms of hepatocarcinogenesis 3. Development of the treatment of hepatitis and suppression method of hepatocarcinogenesis 4. Analysis of the mechanisms of action of antiviral drugs including interferon 5. Analysis of the disrupting mechanisms of innate immunity by hepatitis C virus 6. Analysis of the mechanisms of hepatitis B virus replication 7. Analysis of the disrupting mechanisms of innate immunity by hepatitis B virus</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>分子腫瘍学 Molecular Oncology TEL 086-235-7378 <a href="http://genet1.med.okayama-u.ac.jp/Molecular_Genetics/Welcome.html">http://genet1.med.okayama-u.ac.jp/Molecular_Genetics/Welcome.html</a> hkayayama@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>准教授 片山 博志 Associate Professor KATAYAMA, Hiroshi</p>	<p>1. M期キナーゼと癌関連蛋白質との機能的相互作用の解析 2. 新規癌遺伝子MYNNによる癌発症機構の解析 3. 発癌に関わるmicroRNAの同定と腫瘍遺伝子の機能解析</p>	<p>1. Functional interaction of mitotic kinases and tumor associated proteins 2. Functional analysis of novel oncogene MYNN in tumorigenesis 3. Identification and functional analysis of novel oncogenic microRNAs in cancer</p>	<p>医学 Med.</p>

<p>呼吸器・乳腺内分泌外科 General Thoracic Surgery and Breast and Endocrinological Surgery TEL 086-235-7262 <a href="http://www.nigeka-okayama-u.jp/">http://www.nigeka-okayama-u.jp/</a> smiyoshi@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 三好 新一郎 Professor MIYOSHI, Shinichiro</p>	<p>1. 外科腫瘍学 2. 肺葉手術 3. 肺移植 4. 肺癌の遺伝子異常 5. 肺癌化学療法・分子標的治療 6. 胸腔鏡手術 7. 呼吸器外科における再生医療</p>	<p>1. Thoracic surgical oncology 2. Surgery for lung cancer 3. Lung transplantation 4. Endocrinological therapy for breast cancer 5. Gene investigation in lung cancer 6. Chemotherapy and molecular targeted therapy for breast cancer 7. Video-assisted thoracic surgery 8. Regenerative medicine in thoracic surgery</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>血液・腫瘍・呼吸器内科学 Hematology, Oncology and Respiratory Medicine TEL 086-235-7224 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/minai/">http://www.okayama-u.ac.jp/user/minai/</a> akanehiro@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 谷本 光吉 Professor TANIMOTO, Mitsune</p>	<p>1. 造血幹細胞移植の基礎と臨床：造血幹細胞とその産生、動員の調節因子の究明。造血幹細胞移植後の移植片対宿主病 (GVHD) のメカニズムの解明 2. 制御性T細胞恒常性を標的とした低用量IL-2によるGVHD治療法の開発 3. 肺癌に対する分子標的療法と化学療法との基礎と臨床：抗細胞毒性機序の分子生物学的解明とその克服 4. 肺癌発癌機構の解明と化学予防 5. 移植片対宿主病の病態解明と治療薬が効果を及ぼすメカニズムの解明 6. COPDおよび特発性間質性肺炎の発症メカニズムの解明 7. 間質性肺炎患者における線維化病態の解明：線維化に関する因子の分子生物学的研究</p>	<p>1. Clinical and experimental hematopoietic stem cell transplantation: biology of hematopoietic stem cells, mechanisms of stem cell mobilization, and mechanisms of graft versus host disease (GVHD) using mouse model or human samples 2. Low-dose interleukin-2 administration for patients with chronic GVHD 3. Mechanisms of the resistance to epidermal growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitors (EGFR-TKI) for lung cancer with activating EGFR mutations 4. Carcinogenesis and chemoprevention in lung cancer 5. Molecular biological analysis in idiopathic interstitial pneumonitis 6. Mechanisms underlying the disease development of bronchial asthma and COPD, and the effects of several molecules for suppressing these diseases using murine models and human samples 7. Mechanisms of fibrosis in interstitial lung disease</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>放射線医学 Radiology TEL 086-235-7309 <a href="http://www.ok-radiology.jp/">http://www.ok-radiology.jp/</a> susumu@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 金澤 右 Professor KANAZAWA, Susumu</p>	<p>1. 放射線治療の臨床疫学的研究 2. MRI温度モニタリング下の温熱治療の研究 3. 疫学的的手法による腫瘍評価法の研究、特にPET/CTについて 4. Radioisotopeによる局所肝機能評価とその治療応用に関する研究 5. CT・MRIを用いた新しい撮像法及び診断法の研究 6. 肝静脈一時閉塞における肝血行動態の研究 7. 画像ガイドドラジエ波治療の基礎的・臨床的研究 8. ロボットIVRの開発</p>	<p>1. Clinical epidemiology of radiation therapy 2. Hyperthermia under temperature monitoring with MRI 3. Tumor evaluation using the method of nuclear medicine, especially with PET/CT 4. Evaluation and clinical application of regional liver function with radioisotope 5. Novel imaging and diagnostic techniques with CT and MRI 6. Hepatic hemodynamics during temporary occlusion of a hepatic vein 7. Basic and clinical research of image-guided radiofrequency ablation therapy 8. Robotic interventional radiology</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>消化器外科 Gastroenterological Surgery TEL 086-235-7255 <a href="http://www.ges-okayama-u.com/">http://www.ges-okayama-u.com/</a> toshi_@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 藤原 俊義 Professor FUJIWARA, Toshiyoshi</p>	<p>1. がんの遺伝子治療、分子標的治療 2. がんの微小嚢腫 (がん関連繊維芽細胞など) を標的とする治療研究 3. がんの分子イメージング・蛍光イメージング 4. 外科手術予ヒゲーション・システムの開発 5. 消化器癌の遺伝子診断・全ゲノム関連解析 (GWAS) ・薬剤感受性診断 6. 消化器領域の低侵襲治療 (鏡視下手術、ロボット手術) の研究 7. 肝臓腫瘍の消化器癌に対するペプチドワクチン療法との開発 8. 化学療法との臨床研究・臨床試験 9. 生体・脳死肝移植の臨床研究 10. 糖尿病に対する膵島移植の臨床研究 11. 肝・膵の再生医学研究</p>	<p>1. Gene therapy and molecular targeted therapy for cancer 2. Investigation of novel target therapy for cancer microenvironment (cancer-associated fibroblasts) 3. Molecular and fluorescent imaging for cancer 4. Development of surgical navigation system 5. Genetic profiling of gastrointestinal neoplasm / Genome Wide Association Study, GWAS / Genetic analysis for chemosensitivity 6. Minimally invasive therapy (MIT) (laparoscopic surgery, robotic surgery) for gastrointestinal disease 7. Peptide cancer vaccines for hepato-biliary-pancreatic neoplasms 8. Clinical research and trials of chemotherapy 9. Deceased and living donor liver transplantation 10. Pancreas islet cell transplantation for diabetes 11. Regenerative medicine for liver and pancreas</p>	<p>医学 Med.</p>

<p>臨床遺伝子医療学 Clinical Genomic Medicine TEL 086-235-7436 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/genome/">http://www.okayama-u.ac.jp/user/genome/</a> toyooka@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 豊岡 伸一 Professor TOYOOKA, Shimichi</p>	<p>1. 全ゲノム・エピゲノム解析による癌の病態解明と治療への応用 2. 癌治療薬に対する感受性・耐性規定因子の研究 3. 新しい遺伝子診断法の開発 4. 上肢間葉移行の分子機構の解明 5. 自己由来増殖因子による気管支創傷治療の研究</p>	<p>1. Translational study for cancer with whole genomic and epigenomic approach 2. Investigation for cancer drug sensitivity and resistance 3. Development of novel detection system for gene alteration 4. Molecular mechanism of epithelial-mesenchymal transition 5. Investigation of bronchial healing with autologous growth factors</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>口腔顎顔面外科学 Oral and Maxillofacial Surgery TEL 086-235-6700 <a href="http://www.dent.okayama-u.ac.jp/2kouge/index_sc_j.html">http://www.dent.okayama-u.ac.jp/2kouge/index_sc_j.html</a> aksasaki@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 佐々木 朗 Professor SASAKI, Akira</p>	<p>1. 口腔腫瘍に関する基礎的、臨床的研究 2. 癌関連骨病変の制御に関する研究 3. 口腔癌の浸潤・転移に関する研究 4. 癌化学療法薬の薬剤耐性機構に関する研究 5. 顎変形症患者の顔貌の形態計測学的分析およびその治療法に関する研究 6. 骨・軟骨の形成機構ならびに疾患の分子メカニズムに関する研究</p>	<p>1. Clinical and basic research of oral tumor 2. Development of the treatment for cancer induced bone disease 3. The mechanism of invasion and metastasis of oral cancer 4. Analysis of anti-cancer drug resistant mechanism 5. Study of treatment of Dentofacial Deformity 6. Study of metabolism of chondrocyte</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>歯科放射線学 Oral and Maxillofacial Radiology TEL 086-235-6705 <a href="http://www.dent.okayama-u.ac.jp/housyasen/index.html">http://www.dent.okayama-u.ac.jp/housyasen/index.html</a> asaumi@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 浅海 淳一 Professor ASAUMI, Jun-ichi</p>	<p>1. 口腔癌の保存療法に関する研究 2. 口腔癌のMRI拡散強調画像に関する研究 3. 顎口腔領域病変のダイナミックMRIによる質的診断能に関する研究 4. 歯科用MRIの開発に関する基礎的研究 5. 口腔癌における創薬の開発 6. 分子イメージング 7. 法医学に関する研究</p>	<p>1. Research on conservative therapy of oral cancer 2. Research on MRI diffusion weighted image of oral lesion 3. Research on qualitative diagnosis ability by dynamic contrast enhanced MRI of Oral and maxillofacial region 4. Study on dental MRI development 5. Development of drug discovery in oral cancer 6. Molecular imaging in oral cancer 7. Research for the forensic dentistry</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>臨床薬理学 Clinical Pharmacy TEL 086-235-7640 <a href="http://pharm.okayama-u.ac.jp/lab/rinzai/">http://pharm.okayama-u.ac.jp/lab/rinzai/</a> sendou@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 千堂 年昭 Professor SENDO, Toshiaki</p>	<p>1. 中枢神経系薬物、特に向精神薬物、麻薬関係薬物の神経精神行動薬理学的研究 (病態モデルの作成と発現機構に関する研究) 1) 意欲・動機付けの脳内発現機構と薬物の作用 (脳内自己刺激 (快) 動物を用いた研究) 2) 難治性うつ病モデルの作成と治療薬の研究 (ACTH処理動物を用いた研究) 3) 抗がん剤が精神機能に与える影響 (動物を用いた各種精神機能を反映する行動変化を検討) 2. 医薬品による有害作用の発現機序解明と予防対策の確立 1) 抗がん剤による副作用軽減に関する研究 3. 分子標的治療薬の血中濃度と有害事象に関する研究 3) 重合開始剤による有害事象の機序解明 1) 適正な臨床試験 (治験) の実施に関する研究 2) 医師主導型臨床試験 (治験) の実施に関する研究 3) 岡山治療ネットワークの構築に関する研究</p>	<p>1. Behavioral pharmacology of Centrally acting drug such as psychotropic drug and opioids 1) Elucidation of motivation and reward mechanisms, estimation of experimental methods and motivational properties of psychoactive drugs 2) Development of animal models of treatment-resistant depression. 3) Mechanisms of anticancer drugs on mental function using animal models 2. Establishment of prevention of drug-induced adverse reactions 1) Prevention of adverse reactions on antineoplastic drugs 2) Relationship between blood level and adverse reactions on molecular targeting drugs 3) Elucidation of adverse events on polymerization agents in the injectable fluids 3. Evaluation and development of clinical trial 1) Appropriate clinical trial 2) Physician-initiative clinical trial 3) Development of clinical trial network in Okayama</p>	<p>医学 Med.</p>

<p>製剤設計評価学 Pharmaceutical Formulation Design TEL 086-251-7978 <a href="http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/departement/content0005.html">http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/departement/content0005.html</a> kurosaki@pharm.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 黒崎 勇二 Professor KUROSAKI, Yuji</p>	<p>1. 薬物の局所拡散・滞留特性に影響を与える因子の解析と制御 2. 微小透析法 (microdialysis) を応用した局所薬物動態モニタと局所薬物利用率評価 3. 新規被覆型含水ゲル基剤の設計と皮膚湿潤保持療法への応用 4. 血漿-腹腔透析液中の薬物移行動態の解析と薬物投与経路としての評価 5. 新規剤形の設計と評価 6. 薬物の経皮吸収特性の新規 in vitro 評価系</p>	<p>1. Evaluation of dynamic diffusion process of drugs in muscle and the factors contributing to local pharmacokinetics 2. Application of microdialysis to local pharmacokinetics studies and evaluation of foral availability of drugs 3. Dermal DDS prepared with hydrogel sheet exhibiting improved moisture controlling functions to the injured skin surface 4. Pharmacokinetic assessment of peritoneal dialysis and the application to peritoneal drug dosing to improve the efficacy and safety 5. Optimization of dosage formulations for improving bioavailability and applicability of drugs 6. Characterization of a new in-vitro evaluation system for percutaneous permeation of drugs</p>	<p>薬学 Pharm.</p>
<p>医薬品安全性学 Medical genotoxicology TEL 086-251-7946 <a href="http://pharm.okayama-u.ac.jp/lab/genetos/home.html">http://pharm.okayama-u.ac.jp/lab/genetos/home.html</a> isaka@pheasant.pharm.okayama-u.ac.jp</p>	<p>(准教授 根岸 友恵) Associate Professor NEGISHI, Tomoe</p>	<p>1. 環境因子による体細胞傷害ならびにDNA傷害とアポトーシス誘導機構の解析 2. アルキル化剤による突然変異誘導に関するDNA傷害修復機構 3. 長波紫外線の遺伝毒性発現機構 4. 生物微細構造と酸化傷害の関係 5. タバコ副流煙の生物影響</p>	<p>1. DNA damage and apoptosis in <i>Drosophila</i> induced by environmental factors 2. Involvement of DNA repair systems in mutagenesis caused by alkylating agents 3. Genotoxicity induced by longer wavelength ultraviolet light 4. The correlation between oxidative stress and bio-photon 5. Biological effects of environmental tobacco smoke</p>	<p>薬学 Pharm.</p>
<p>医薬品安全性学 Medical genotoxicology TEL 086-251-7947 <a href="http://pharm.okayama-u.ac.jp/lab/genetic/home.html">http://pharm.okayama-u.ac.jp/lab/genetic/home.html</a> arimoto@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>(准教授 有元 佐賀恵) Associate Professor ARIMOTO-KOBAYASHI, Sakae</p>	<p>1. 癌の化学予防、および突然変異・遺伝子損傷・発癌を予防抑制する物質の検索と作用機構解明 2. 紫外線・可視光による環境物質・生体内物質の光遺伝毒性研究、とくにN-ニトロ化合物の光遺伝毒性研究 3. 遺伝子障害・突然変異・発癌誘発機構解明 4. 環境などからの変異原性・遺伝子障害性物質の検出・安全性試験と防護研究 5. 発癌過程におけるヘリコバクター・ピロリ菌の作用機構解明</p>	<p>1. Chemoprevention for cancer and investigation of anti-genotoxic and anti-carcinogenic agents from natural products 2. Photogenotoxicity of environmental substances, especially N-nitroso compounds 3. Investigation of genetic toxicology, mutagenesis and carcinogenesis 4. Isolation and identification of genotoxic substances from environment 5. Investigation of the mutagenicity of <i>H. pylori</i></p>	<p>薬学 Pharm.</p>
<p>医薬品臨床評価学 Pharmaceutical Biomedicine TEL 086-251-7970 <a href="http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/lab/ph_biomed/">http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/lab/ph_biomed/</a> mitkano@pharm.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 狩野 光伸 Professor KANO, Mitsunobu</p>	<p>1. 血管内皮細胞の壁細胞による安定化機構 2. 腫瘍血管を標的としたナノ製剤薬効を増強する薬剤の併用効果 3. ナノテクノロジーを応用した新たな脈管研究メソッドの開発、および新規実験系の構築、治療標的の探索 (以下高山准教授グループ) 1. 通染薬による代謝症候群・生活習慣病の機序機構の解明と治療標的・薬の探究-具所性脂肪、酸化ストレス、鉄-慢性炎症、遺伝子後生的修飾- 2. 肝疾患における薬物代謝についての研究</p>	<p>1. Mechanisms of stabilization of vascular endothelium by pericytes 2. Effects of drugs targeting tumor capillary on effects of nanomedicines 3. Development of novel research methodologies and experimental models for analyzing microcirculation by applying nanotechnology (Takayama Group) 1. Elucidation of steatosis, chronic inflammation, hypoxemic stress, iron, and epigenetic modulation in life-style related diseases 2. Development of anti-metabolic syndrome agents</p>	<p>薬学 Pharm.</p>
<p>臨床病態診断学 Sciences TEL 086-251-7921 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/hokekan/index.shtml">http://www.okayama-u.ac.jp/user/hokekan/index.shtml</a> ogugnu@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 小倉 俊郎 Professor OGURA, Toshio</p>	<p>1. 若年者におけるメタボリック症候群の頻度とその背景因子に関する研究 2. 若年者の脂質異常症の頻度とその長期予後にに関する研究 3. 肥満とやせの生活習慣的および心理的背景に関する研究 4. 喫煙者の心理的背景の解析にもとづく禁煙指導に関する研究</p>	<p>1. Incidence and feature of metabolic syndrome in the youth. 2. Incidence and prognosis of dyslipidemia in the youth. 3. Lifestyle and psychological background among the obese and thlender young people. 4. Analysis of psychological behavior for smokers.</p>	<p>薬学 Pharm.</p>

臨床病態診断学 Clinical Pathophysiology, Diagnosis and Etiologic Analysis TEL086-235-7892 http://www.okayama-u.ac.jp/user/hokekan/index.shtml ohnishi@cc.okayama-u.ac.jp	教授 大西 勝 Professor OHNISHI,Masaru	1. 大学生のメンタルヘルスに関する研究 2. 摂食障害治療における家族療法の研究 3. 産業精神保健に関する研究	1. Research of college student's mental health 2. Research of family therapy in the treatment of eating disorders 3. Research of occupational mental health	薬学 Pharm.
救急薬学 Emergency Pharmaceutics TEL 086-251-7984 http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/department/ hnaac@pharm.okayama-u.ac.jp	教授 名倉 弘哲 Professor NAKURA, Hironori	1. 救急における薬学的管理に関する研究 2. 救急医療における薬剤経済に関する研究 3. 災害医療における医薬品供給システムに関する研究	1. Pharmaceutical management on emergency medicine 2. Pharmacoeconomics on emergency medicine 3. Construction of the medicine supplies system in disaster medicine	薬学 Pharm.

### ○機能再生・再建科学専攻

Department, HP Address, E-mail	指導教授 Professor	研究内容	Research Projects	学系区分 Faculty
細胞生物学 Cell Biology TEL 086-235-7394 http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/cellbio/CellBioFront.htm masa-s@md.okayama-u.ac.jp	准教授 阪口 政清 Associate Professor SAKAGUCHI, Masakiyo	1. 炎症性がん進展の分子機構解明とそれに基づく分子標的治療法の開発 2. がん幹細胞再発法の確立と単離がん幹細胞の特性解析 3. がん遺伝子治療への適用と医療用組み換えタンパク質産生の高効率化を目指す哺乳動物用超高効率遺伝子発現ベクターの開発 4. 細胞の生死を制御するミトコンドリアの機能恒常性維持、分解、新生の分子機構の解析とそれに基づく神経変性疾患の発症、進展機序の理解 5. 神経変性疾患、がん進展の制御を目指す細胞種および細胞内小器官特異的治療用タンパク質導入法の開発	1. Inflammation and cancer 2. Cancer stem cells 3. Super gene expression 4. Homeostasis, degradation, and regeneration of mitochondria 5. Intracellular delivery of therapeutic proteins	医学 Med.
耳鼻咽喉・頭頸部外科学 Otolaryngology TEL 086-235-7302 http://www.okayama-u.ac.jp/user/jibika-1/index.html jibika@cc.okayama-u.ac.jp	教授 西崎 和則 Professor NISHIZAKI, Kazunori	1. マウスモデルを使った鼻アレルギー発症機序の解明 2. 非症候群性家族性難聴の遺伝子解析 3. 頭頸部癌悪化に関する分子遺伝学 4. 臓器再生医学 5. 嗅覚障害と再生 6. 頭頸部癌分子生物学的解析 7. 頭頸部癌とヒトパピローマウイルスの関係	1. Regeneration of olfaction 2. Mechanisms of nasal allergy using a mouse model 3. Gene analysis of non-syndrome familial hearing loss 4. Pathological conditions of secretory otitis media 5. Molecular biological analysis of the head and neck cancer 6. Relationship between head and neck cancer and HPV	医学 Med.

<p>眼科学 Ophthalmology TEL 086-235-7293 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/oph/">http://www.okayama-u.ac.jp/user/oph/</a></p>	<p>教授 白神 史雄 Professor SHIRAGA, Fumio</p>	<p>1. 網膜硝子体疾患の病態研究 2. 網膜硝子体疾患の新規治療法の開発 3. iPS細胞由来網膜色素上皮細胞の臨床応用研究 4. トレハロースなどの糖類による眼組織保護 5. 岡山大学方式人工網膜の開発 6. 斜視の遺伝解析 7. 光電変換色素による神経保護 8. 外眼筋固有知覚に關係した眼位の研究</p>	<p>1. Pathology of vitreoretinal disease 2. Development of new treatments for vitreoretinal disease 3. Clinical application study of iPS cell-derived retinal pigment epithelial cells 4. Trehalose and other sugars for clear cornea and clear lens preservation 5. Development of Okayama University-type retinal prosthesis 6. Genetic analysis of strabismus 7. Neuroprotection by photoelectric dyes 8. Study of ocular alignment related to proprioception of extraocular muscles</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>整形外科学 Orthopaedic Surgery TEL 086-235-7270 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/orthop/index.htm">http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/orthop/index.htm</a> <a href="mailto:orthosurg@md.okayama-u.ac.jp">orthosurg@md.okayama-u.ac.jp</a></p>	<p>教授 尾崎 敏文 Professor OZAKI, Toshifumi</p>	<p>1. 骨軟部腫瘍の発生メカニズムと集学的治療 2. 脊椎及び脊髄疾患の発生メカニズムと外科的治療 3. 関節疾患の病態と治療に関する研究 (1) 慢性関節リウマチ, 変形性関節症の病態解析 (2) 関節疾患の新しい外科的治療法の開発 4. 運動器再生の研究 5. 小児整形外科疾患の治療体系の確立 6. スポーツ外傷の予防と治療 7. 筋・神経疾患の電気生理学的研究と治療法の開発 8. 骨折癒合の研究と治療法の開発 9. 運動器生体材料の開発</p>	<p>1. Treatment of Bone and Soft Tissue Tumor 2. Study and Treatment of Spinal Disorders 3. Study and Treatment of Joint Disorders 4. Regeneration of Musculoskeletal System 5. Establishment of Treatment of Pediatric Disorders 6. Treatment of Sports Injuries 7. Development of New Method of Fracture Healing 8. Electric Physiological Analysis of Musculoskeletal Disorders 9. Development of Biomaterials for Musculoskeletal System</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>形成再建外科学 Plastic and Reconstructive Surgery TEL 086-235-7214 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/keisei/">http://www.okayama-u.ac.jp/user/keisei/</a> <a href="mailto:ykimata@cc.okayama-u.ac.jp">ykimata@cc.okayama-u.ac.jp</a></p>	<p>教授 木股 敬裕 Professor KIMATA, Yoshihiro</p>	<p>1. 血管付き組織移植 2. リンパ浮腫の発生機序と治療法 3. 頭頸部癌の再建 4. 四肢の再建 5. 性同一性障害に対する外科的治療（生殖器移植） 6. 自己集合性ペプチドハイドロゲル</p>	<p>1. Vascularized tissue transplantation 2. Lymphedema treatment and mechanism 3. Head and neck cancer reconstruction 4. Limb reconstruction 5. Gender identity disorder surgical treatments (Transplantation of genital organs) 6. Self-assembling peptide hydrogel</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>口腔生化学 Biochemistry and Molecular Dentistry TEL 086-235-6645 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/seika/index.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/seika/index.html</a> <a href="mailto:kubota1@md.okayama-u.ac.jp">kubota1@md.okayama-u.ac.jp</a></p>	<p>教授 久保田 聡 Professor KUBOTA, Satoshi</p>	<p>1. 硬組織（骨・軟骨・歯）の形成・維持・吸収機構および疾患に関する生化学的、分子細胞生物学的研究 2. 硬組織の再生医療に向けての基礎研究 3. CCNファミリー-遺伝子・タンパク質に関する包括的研究 4. 細胞分化に伴う統合的遺伝子発現制御機構の研究 5. 口腔組織における発癌機構に関する研究</p>	<p>1. Biochemistry and Molecular and Cellular Biology of Calcified-Tissues 2. Basic Research toward Regenerative Medicine of Calcified Tissues 3. Comprehensive Studies on CCN Family of Genes and Proteins 4. Investigation on Integrated Gene Regulatory System along Cytodifferentiation 5. Carcinogenesis in Oral Tissues</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>口腔形態学 Oral Morphology TEL 086-235-6630 <a href="http://www.dent.okayama-u.ac.jp/lkaibou/Anato1_J.htm">http://www.dent.okayama-u.ac.jp/lkaibou/Anato1_J.htm</a> <a href="mailto:ytoshio@md.okayama-u.ac.jp">ytoshio@md.okayama-u.ac.jp</a></p>	<p>教授 山本 敏男 Professor YAMAMOTO, Toshio</p>	<p>1. 骨組織の形成、吸収機構に関する細胞生物学的研究 2. 口腔粘膜上皮における細胞接着装置の機能に関する細胞生物学的研究 3. 遺伝子導入による骨組織再生機構に関する細胞生物学的研究 4. メカニカルストレスと骨組織動態に関する細胞生物学的研究 5. 鳥類の骨髄骨代謝と卵管の同調機構</p>	<p>1. Cell biology of bone formation and resorption 2. Cell biology of intercellular junctions in oral mucosae 3. Bone regeneration using BMP gene transfer 4. Cell biology of mechanical stress induced bone formation 5. Synchronizing mechanism between medullary bone and oviduct in avian</p>	<p>歯学 Dent.</p>

<p>生体材料学 Biomaterials</p> <p>TEL 086-235-6665</p> <p><a href="http://www.dent.okayama-u.ac.jp/rikou/rikou/Welcom.html">http://www.dent.okayama-u.ac.jp/rikou/rikou/Welcom.html</a></p> <p>tmatsu@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 松本 卓也</p> <p>Professor MATSUMOTO, Takuya</p>	<p>1. 生体組織と生体材料との界面制御</p> <p>2. 生体組織接着材料の分子設計と開発</p> <p>3. 組織再生制御</p> <p>4. 生体材料を基礎とした新しい生命科学研究用ツールの開発</p> <p>5. 歯科材料, 生体材料の物性と臨床応用</p>	<p>1. Regulation of material/biological tissue interface</p> <p>2. Design and development of new tissue adhesive</p> <p>3. Biological tissue synthesis</p> <p>4. Development of new material-based tools for biological research</p> <p>5. Biomaterial characteristics and clinical application</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>歯科保存修復学 Operative Dentistry</p> <p>TEL 086-235-6670</p> <p><a href="http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~hozon1/rest.htm">http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~hozon1/rest.htm</a></p> <p>yoshiyam@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 吉山 昌宏</p> <p>Professor YOSHIYAMA, Masahiro</p>	<p>1. 象牙質再生療法の開発に関する研究</p> <p>2. 接着性修復材による保存修復法に関する研究</p> <p>3. 審美修復法の開発, 確立と臨床応用に関する研究</p> <p>4. 齲蝕象牙質の細菌学的, 組織学的研究</p> <p>5. 歯科修復材料への歯質強化作用及び抗菌性の付与に関する研究</p>	<p>1. Development of Dentin Regeneration Therapy</p> <p>2. Restoration by Adhesive Materials</p> <p>3. Development of Esthetic Dentistry</p> <p>4. Bacterial Research of Carious Dentin</p> <p>5. Antibacterial Effects of Restorative Materials</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>口腔機能解剖学 Oral Function and Anatomy</p> <p>TEL 086-235-6635</p> <p><a href="http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dentanatamy2/">http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dentanatamy2/</a></p> <p>tsugi@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 杉本 朋貞</p> <p>Professor SUGIMOTO, Tomosada</p>	<p>1. 三叉神経系の口腔感覚情報処理機構</p> <p>2. 脊髄神経系の感覚情報処理機構</p> <p>3. 末梢神経損傷後の体性感覚情報処理機構の変化</p>	<p>1. Trigeminal mechanism of orofacial sense</p> <p>2. Spinal mechanism of somatosensory system</p> <p>3. Effects of peripheral nerve injuries on the somatosensory system</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>口腔生理学 Oral Physiology</p> <p>TEL 086-235-6640</p> <p><a href="http://www.dent.okayama-u.ac.jp/seiri/index_sc_j.html">http://www.dent.okayama-u.ac.jp/seiri/index_sc_j.html</a></p> <p>rmatsu@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 松尾 龍二</p> <p>Professor MATSUO, Ryuji</p>	<p>1. 口腔感覚情報の中核処理機構</p> <p>2. 口腔感覚による自律神経調節機構</p> <p>3. 摂食飲水行動の中核神経機構</p> <p>4. 嚥下, 嘔吐, 咀嚼の神経機構</p>	<p>1. Neural mechanism of oral sensory function</p> <p>2. Autonomic nervous systems for salivation and blood flow in the orofacial region</p> <p>3. Neural mechanism of feeding and drinking</p> <p>4. Reflexes in the upper alimentary canal during feeding</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>インプラント再生補綴学 Oral Rehabilitation and Regenerative Medicine</p> <p>TEL 086-235-6680</p> <p><a href="http://www.dent.okayama-u.ac.jp/1hotetu/c_22.html">http://www.dent.okayama-u.ac.jp/1hotetu/c_22.html</a></p> <p>kuboki@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 窪木 拓男</p> <p>Professor KUBOKI, Takuo</p>	<p>1. 口腔インプラント治療を含む補綴治療の効果・効用に関する臨床疫学ならびにトランスレーションショナル研究</p> <p>2. 顎関節症・口腔顔面痛に関する基礎研究ならびに臨床疫学研究</p> <p>3. 慢性筋痛やブラキシズムの病因・病態解明に向けた基礎研究ならびに臨床疫学研究</p> <p>4. 高齢者や有病者の口腔機能リハビリテーションと栄養管理</p> <p>5. 摂食嚥下リハビリテーションと生活の質に関する研究</p> <p>6. 咀嚼性レジジンや歯科用レーザーに関する基礎研究, 臨床応用研究, および臨床疫学研究</p>	<p>1. Tissue and organ engineering of tooth, alveolar bone, oral mucosa and joint cartilage</p> <p>2. Molecular cellular biology for osseointegration of dental implant</p> <p>3. Basic and clinical research for temporomandibular disorders and orofacial pain</p> <p>4. Clinical epidemiology for dental implant or prosthodontic treatment</p> <p>5. Basic and clinical research for etiology of muscle pain and oral bruxism</p> <p>6. Molecular cellular biology for destructive joint disease</p> <p>7. Oral rehabilitation of elderly people and quality of life</p> <p>8. Dysphagia rehabilitation and nutritional control</p> <p>9. Basic and clinical research for dental adhesive resin</p>	<p>歯学 Dent.</p>



<p>歯科矯正学 Orthodontics</p> <p>TEL 086-235-6690</p> <p><a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/kyousei/classroom/event.htm">http://www.okayama-u.ac.jp/user/kyousei/classroom/event.htm</a></p> <p>Professor KAMIOKA, Hiroshi</p> <p>kamioka@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 上岡 寛</p> <p>Professor KAMIOKA, Hiroshi</p>	<p>1. 歯の移動と骨のメカニカルストレス受容機構に関する基礎研究</p> <p>2. ハイオイメーキングを用いた骨形態計測学的研究</p> <p>3. 歯の移動に関する細胞生物学, 免疫組織化学, 分子生物学, 神経解剖学的研究</p> <p>4. 歯根膜再生に関する細胞生物学, 分子生物学的研究</p> <p>5. 顎・顔面の成長発育並びに先天異常に関する骨・軟骨細胞生物学, 分子生物学的研究</p> <p>6. 不正咬合, 顎関節症者の運動生理学ならびに臨床疫学研究</p> <p>7. 矯正治療に伴う歯列, 顎, 口腔の形態と機能の変化に関する研究</p>	<p>1. Basic research for mechanotransduction in bone and teeth</p> <p>2. Bio-imaging research for bone morphometry</p> <p>3. Basic and clinical research for orthodontic tooth movement</p> <p>4. Molecular cellular biology for periodontal tissue regeneration</p> <p>5. Molecular cellular biology for tooth and craniofacial development disorders</p> <p>6. Basic and clinical research for malocclusion and temporomandibular disorders</p> <p>7. Functional research for craniofacial morphology during orthodontic treatment</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>顎口腔再建外科学 Oral and Maxillofacial Reconstructive Surgery</p> <p>TEL 086-235-6695</p> <p><a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/saiken.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/saiken.html</a></p> <p>ida-s1@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 飯田 征二</p> <p>Professor IIDA, Seiji</p>	<p>1. 顎骨再生医療の臨床応用への細胞・担体複合移植手技の開発とその効率化のための生体内成長因子の応用</p> <p>2. 骨吸収機構の分子遺伝子学的解明と新規骨吸収抑制剤の臨床応用に関する研究</p> <p>3. 三次元画像診断装置を用いた顎骨の形態的定性的研究</p> <p>4. 口唇・口蓋裂・顎変形症患者の発生機序検索及び顎・顔面形態計測による運動機能解析と発育・手術評価</p> <p>5. 軟骨の再生を促進するメカニズムの分子生物学的解析と臨床応用に関する研究</p> <p>6. 口腔粘膜の難治性疾患における遺伝子発現解析と病因解明をめざした研究</p>	<p>1. Basic research for regeneration of the jaw bone using the novel scaffold, auto-cell grafting and cytokine distribution technique</p> <p>2. Molecular analysis for bone resorption and its control system, and development for regeneration of jaw bone using the novel anti-bone-resorption medicine</p> <p>3. Research of morphological and structural analysis of facial bone using 3 dimensional imaging diagnostic system</p> <p>4. Biological study for developmental anomaly about cleft lip and palate, and morphological and kinetic analysis for its treatment</p> <p>5. Molecular biological analysis about cartilage growth, differentiation and regeneration, and its clinical application studies</p> <p>6. Gene expression analysis for the intractable diseases of oral mucosa</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>咬合・有床義歯補綴学 Department of Occlusal and Oral Functional Rehabilitation</p> <p>TEL 086-235-6688</p> <p><a href="http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~2hotetsu/Top_e.html">http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~2hotetsu/Top_e.html</a></p>	<p>教授 皆木 省吾</p> <p>Professor MINAGI, Minagi</p>	<p>1. 頭蓋下顎機能異常 (顎関節症) の発症機序に関する研究 (夜間ブラキシズムの発生機序, 増強因子, 減少因子に関する研究)</p> <p>2. 歯根膜感覚と夜間ブラキシズムの関連およびその機能分類に関する研究</p> <p>3. 歯槽骨及び周囲組織の再生に関する分子生物学的研究</p> <p>4. 口腔インプラント周囲支持組織の治癒機構に関する研究</p> <p>5. 疼痛と顎機能との関連に関する研究</p> <p>6. 顎関節症と, 顎関節へのメカニカルストレスとの関連に関する基礎的ならびに臨床的研究</p> <p>7. 構音障害の治療に関する研究</p> <p>8. 咀嚼と脳機能に関する研究</p> <p>9. 高齢者の顎口腔機能に関する研究</p> <p>10. 咀嚼機能に関する研究</p> <p>11. 有床義歯の形態と機能に関する研究</p>	<p>1. Etiology of craniomandibular disorders (TMD)</p> <p>2. Physiological study on Periodontal sensation and muscle function</p> <p>3. Molecular biology on regeneration of alveolar bone and periodontal tissues</p> <p>4. Oral implantology</p> <p>5. Pain and Stomatognathic system</p> <p>6. Mechanical analysis on TMJ loading</p> <p>7. dysarthria and speech function</p> <p>8. Occlusion and brain function</p> <p>9. Geriatric dentistry on stomatognathic function</p> <p>10. Masticatory function</p> <p>11. Function of denture prosthesis</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>歯科麻酔・特別支援歯学 Dental Anesthesiology and Special Care Dentistry</p> <p>TEL 086-235-6720</p> <p><a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/shimasui/">http://www.okayama-u.ac.jp/user/shimasui/</a></p> <p>miyawaki@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 宮脇 卓也</p> <p>Professor MIYAWAKI, Takuya</p>	<p>1. 口腔侵襲による生体反応とその制御に関する研究</p> <p>2. 歯科静脈内鎮静法に関する臨床研究</p> <p>3. Alpha-2アドレナリン受容体アゴニストの抗侵襲作用に関する研究</p> <p>4. 静脈麻酔薬・鎮静薬の薬物動態に関する研究</p> <p>5. リボソームを用いた薬物キャリアアに関する臨床研究</p> <p>6. 障がい者の口腔健康維持支援に関する臨床研究</p> <p>7. 摂食・嚥下リハビリテーションに関する臨床研究</p>	<p>1. Biological reaction to oral invasive stimuli and its control</p> <p>2. Intravenous sedation for dental patients</p> <p>3. Anti-invasive effect of alpha-2 adrenoceptor agonists</p> <p>4. Pharmacokinetics of intravenous anesthetics and sedatives</p> <p>5. Liposomal drug carrier</p> <p>6. Oral health of persons with disabilities</p> <p>7. Dysphagia rehabilitation</p>	<p>歯学 Dent.</p>

○社会環境生命科学専攻 Social and Environmental Sciences

<p>教育研究分野及び連絡先 Department, HP Address, E-mail</p>	<p>指導教授 Professor</p>	<p>研究内容</p>	<p>Research Projects</p>	<p>学系区分 Faculty</p>
<p>病原細菌学 Bacteriology TEL 086-235-7157 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/saikin/">http://www.okayama-u.ac.jp/user/saikin/</a> osamu@okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 松下 治 Professor MATSUSHITA, Osamu</p>	<p>1. 細菌のコラゲナーゼに関する研究 1) 機能性ドメインの構造活性相関と再生医療への応用 2) 細菌の生態学と遺伝子発現調節に関わる分子機構 2. 細菌の神経毒素に関する研究 1) ボツリヌス毒素の構造活性相関 2) ボツリヌス毒素の治療への応用</p>	<p>1. Study on bacterial collagenases 1) Structure-function relationship of the functional domains and their applications for regenerative medicine 2) Bacterial ecology and molecular mechanism of gene expression regulation 2. Study on bacterial neurotoxins 1) Structure-function relationship of botulinum toxin 2) Clinical applications of botulinum toxin</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>病原ウイルス学 Virology TEL 086-235-7163 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/virology/index.html">http://www.okayama-u.ac.jp/user/virology/index.html</a> masao@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 山田 雅夫 Professor YAMADA, Masao</p>	<p>1. ヘルペスウイルスに関する研究 ( ヒトヘルペス 6 型, 7 型, 単純ヘルペス, サイトメガロウイルスを中心に) 1) ウイルスの形態形成に関する研究 2) ウイルスに対する宿主免疫応答の解析 3) 病原性, とくに潜伏感染機構の解析 臨床ウイルス学 1) 易感染性宿主のウイルス感染症の研究 2) ウイルス感染症における宿主・環境因子の関与</p>	<p>1. Research on herpesviruses (human herpesviruses 6 and 7, herpes simplex virus, cytomegalovirus) 1) viral morphogenesis 2) virus-host interaction 3) pathogenesis, latency and reactivation 2. Clinical virological study 1) immune response to viral infection 2) anti-viral substance</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>口腔微生物学 Oral Microbiology TEL 086-235-6657 <a href="http://www.geocities.jp/okayama_u_dent_saikin/">http://www.geocities.jp/okayama_u_dent_saikin/</a> oharan@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 大原 直也 Professor OHARA, Naoya</p>	<p>1. 歯周病原細菌の病原性に関する研究 2. 抗酸菌の病原性に関する研究 3. 組織変生菌ワクチンの開発研究 4. 骨感染症に関する研究 5. 細菌感染と慢性炎症性疾患および生活習慣病との関連性についての研究</p>	<p>1. Pathogenesis of periodontal bacteria 2. Molecular pathogenesis of mycobacteria 3. Development of recombinant BCG vaccines 4. Molecular mechanisms of bone infection caused by bacteria 5. Relationship between bacterial infection and chronic inflammatory diseases</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>小児歯科学 Pediatric Dentistry TEL 086-235-6715 <a href="http://okayama-u-dent-syouni.jp/index.html">http://okayama-u-dent-syouni.jp/index.html</a> mmakano@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 仲野 道代 Professor NAKANO, Michiyo</p>	<p>1. 齲蝕原性細菌の病原性に関する研究 2. バイオフィルム形成における口腔レンサ球菌のシグナル伝達システムに関する分子生物学的研究 3. 齲蝕抽出物の齲蝕発生に対する抑制メカニズムに関連する研究 4. 齲蝕原性細菌の母子伝播および定着に関連する分子生物学的研究 5. 小児における齲蝕咬合の育成に関する研究</p>	<p>1. Pathogenesis of mutans streptococci infections 2. Molecular analysis of signal transduction system of <i>Streptococcus mutans</i> and its relationship with biofilm formation 3. Mechanism of dental caries inhibition by plant extracts 4. Molecular analysis of mother to child transmission of mutans streptococci 5. Research of dentition growth and occlusion-related in children</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>衛生微生物学 Sanitary Microbiology TEL 086-251-7966 <a href="http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/department/content0032.html">http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/department/content0032.html</a> miyoshi@pharm.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 三好 伸一 Professor MIYOSHI, Shin-ichi</p>	<p>1. 細胞溶解毒素の構造と機能ドメインに関する研究 2. 細菌プロテアーゼの毒作用と産生調節に関する研究 3. 病原細菌の環境認識と遺伝子発現調節に関する研究 4. 病原細菌のヘム獲得戦略の解析 5. 病原細菌の生態学および分子疫学的研究 6. 微生物による環境汚染物質の分解に関する研究</p>	<p>Pathogenic and beneficial actions of environmental microorganisms: infectious diseases, food poisoning and bioremediation 1. Gene regulation systems in human pathogenic vibrios 2. Pathological and biological actions of bacterial protein toxins and their domains 3. Bioremediation of chemical pollutants by using environmental microorganisms</p>	<p>薬学 Pharm.</p>

<p>国際感染症制御学 International Infectious Diseases Control TEL 086-251-7976 <a href="http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/lab/joho/">http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/lab/joho/</a> hskim@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>(准教授) 金 惠淑 Associate Professor KIM, Hye-Sook</p>	<p>1. 新規抗マラリア薬の開発 2. 抗マラリア作用機序の解析 3. マラリアの遺伝子診断法の開発 4. 抗がん剤の作用機序に関する研究 5. 細胞死の分子機構の解明と臨床応用 6. ヒト遺伝子多型と抗がん剤のレスポンスに関する研究</p>	<p>1. New Drug development research for control of infectious diseases and improvement of diagnostic method for parasite-infectious diseases (Malaria, Leishmaniasis, Schistosomiasis, etc.) 2. Mechanism analysis of new anticancer candidates and detection of switching molecules in cancer cell death (Ethylnyl Cytidine and 5-FUdR) 3. SNP analysis and usefulness of tailor-made medicine for anticancer agent (5-FU) 4. Development of diagnostic target molecule for chronic fatigue syndrome</p>	<p>薬学 Pharm.</p>
<p>構造生物薬学 Structural Biology TEL 086-251-7974 <a href="http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/lab/a_yama/Structure/Top.html">http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/lab/a_yama/Structure/Top.html</a> a_yama@pharm.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 山下 敦子 Professor YAMASHITA, Atsuko</p>	<p>1. 感覚受容の構造生物学 2. トランスポーター・イオンチャネルの構造生物学 3. 薬学・医学・歯学標的タンパク質群の構造生物学 4. 難解析性タンパク質試料調製・結晶化のための方法論研究</p>	<p>1. Structural biology of sensory systems 2. Structural biology of transporters and ion channels 3. Structural biology of proteins important for pharmaceutical sciences, medicine, and dentistry 4. Methodology to facilitate sample preparation and crystallization for difficult target proteins</p>	<p>薬学 Pharm.</p>
<p>生命倫理学 Bioethics TEL 086-235-6742 <a href="http://homepage1.nifty.com/awaya">http://homepage1.nifty.com/awaya</a> t-awaya@nifty.ne.jp</p>	<p>教授 栗屋 剛 Professor AWAYA, Tsuyoshi</p>	<p>1. テクノロジーによる人間改造とその倫理的、社会的限界に関する研究 2. 現代的な人体所有権に関する研究 3. 人体資源化、商品化に関する研究 4. 臓器売買に関する研究 5. 死の概念及び脳死説の位置づけに関する研究</p>	<p>1. Research into human remodeling due to technology, and its ethical and social limitations 2. Research into the modern proprietary right to the human body 3. Research into 'resourcization' and commodification of the human body 4. Research into the human organ trade 5. Research into the notion of death, and an assessment of brain death theory</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>疫学・衛生学 Epidemiology TEL 086-235-7173 <a href="http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/">http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/</a> h-do@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 土居 弘幸 Professor DOI, Hiroyuki</p>	<p>1. 理論疫学 2. マルチレベル分析学 3. 社会疫学・産業疫学・環境疫学分野の研究と実践応用 4. 健康危機管理 5. 地域医療学 6. 臨床疫学, evidence-based medicine</p>	<p>1. Theoretical epidemiology 2. Multilevel analysis 3. Research and applications in social, occupational, and environmental epidemiology 4. Health risk appraisal and management 5. Community medicine 6. Clinical epidemiology, evidence-based medicine</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>医療政策・医療経済学 Health Economics and Policy TEL 086-235-7171 j-hamada@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 浜田 淳 Professor HAMADA, Jun</p>	<p>1. 医療政策 2. 医療機関の管理・経営 3. 医療経済学 4. 社会保険論</p>	<p>1. Health Policy 2. Health Economics 3. Social Security System</p>	<p>医学 Med.</p>

<p>公衆衛生学 Public Health TEL 086-235-7184 <a href="http://www.okayamadph.jp/">http://www.okayamadph.jp/</a> public@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 荻野 泉規 Professor OGINO, Keiki</p>	<p>1. 予防医学 ①新しい炎症バイオマーカーアロキナーゼを用いた生活習慣病のリスク評価 ②遺伝子変異マウスによる酸化ストレスと老化・疾病機序の解明 ③大規模コホートを用いた生活習慣やさまざまな因子と循環器疾患や生活習慣病との関連に関する疫学研究 ④笑いや音楽、アロママッサージュと健康との関連に関する介入研究 2. 環境保健 ①喘息予防法の開発 ②大気中浮遊粒子状物質(PM2.5, PM10)と疾患 3. メンタルヘルス・産業保健</p>	<p>a) Risk assessment of lifestyle-related diseases using a new inflammatory biomarker, arginase. b) Elucidation of effects of oxidative stress on aging and disease using genetically modified mice. c) Large cohort studies regarding to associations between lifestyle behaviors or various exposures and lifestyle related disease or cardiovascular disease. d) Intervention studies regarding to associations between laughter, music and aroma massage and various diseases or symptoms. 2. Environmental health a) Development of asthma prevention. b) Particulate matter in the air (PM2.5, 10) and disease. 3. Occupational health</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>法医学 Legal Medicine TEL 086-235-7194 myaishi@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 宮石 智 Professor MIYAISHI, Satoru</p>	<p>1. 法医学情報の公衆衛生学的応用に関する研究 2. ミオグロビンの法医学診断への応用 3. 乳幼児突然死に関する研究 4. 溺死診断のためのブランドン検査の新しいアプローチ 5. Real-time PCR法の法医学への応用</p>	<p>1. Legal medicine for public health 2. Medico-legal aspects of myoglobin 3. Sudden unexpected death of infant 4. Novel approaches of the diatom test for the diagnosis of drowning 5. Medico-legal applications of real-time PCR techniques</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>医療情報学 Medical Informatics TEL 086-235-7976</p>	<p>教授 合地 明 Professor GOUCHI, Akira</p>	<p>1. 医療情報ネットワークシステム (LAN および WAN ) 2. 電子カルテと医療情報データベースシステム 3. 情報セキュリティと公開基盤 4. 医療情報交換の基盤技術 (用語の標準化, 交換プロトコール) 5. 医療のモデリング</p>	<p>1. Medical Information Network System 2. Electronic Medical Record and Database System 3. Information Security and Public Key Infrastructure 4. Fundamentals of Medical Information Exchange 5. Modelling of Health Care System</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>総合内科学 General Medicine TEL 086-235-7342 <a href="http://okayama-u-sougounaika.jp/">http://okayama-u-sougounaika.jp/</a> sougounaika@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 大塚 文男 Professor OTSUKA, Fumio</p>	<p>1. 様々な内科疾患の病態生理に対する分子生物学的アプローチ 2. 血管作動物質による血圧調節機構及び高血圧の発症・進展機構の解明 3. 成長因子による内分沁調節機構の解明と臨床応用 4. 動脈硬化の成因の解明と治療法の開発 5. 動脈硬化症のイメージングと薬物標的化技術 6. サイトカインによる骨粗鬆症の発症メカニズムの解析 7. 全てのHLAクラスIを対象としたCMV特異的CTL監視法および樹立法の開発 8. 不明熱の原因・病態におけるレトロウイルスペクティブな解析 9. 耐性菌感染症の解析</p>	<p>1. Investigation of the pathophysiology related to various medical diseases. 2. Investigation of the developmental mechanism of hypertension and hypertensive organ damages induced by vasoactive factors. 3. Exploration of the mechanism of endocrine regulation by growth factors and its clinical application. 4. Investigation of the mechanism of atherosclerosis and approach to a new therapeutic strategy. 5. Visualization of atherosclerosis and diagnosis/therapy 6. Investigation of the pathogenesis of cytokine-induced osteoporosis. 7. Development of CMV specific CTL monitoring for all HLA Class-I molecules 8. Clinical analysis of fever of unknown origin. 9. Analysis of patients infected with drug-resistant organism.</p>	<p>医学 Med.</p>
<p>老年医学 Longevity and Social Medicine TEL 0858-43-1211 <a href="http://www.okayama-u.ac.jp/user/misasa/">http://www.okayama-u.ac.jp/user/misasa/</a> fumin@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 光延 文裕 Professor MITSUNOBU, Fumihiro</p>	<p>1. 高齢慢性呼吸器疾患患者の病態的特徴と治療に関する研究 2. 地域・在宅医療の諸問題に対する解決策の立案, およびその検証に関する疫学的研究 3. 老年期の消化器疾患, 生活習慣病, 運動器症候群の病態的特徴とその治療法開発に関する研究 4. 老年期疾患に対する, 温泉療法, 温熱療法, 栄養療法, 運動療法, 理学療法の作用機序に関する研究 5. 高齢者の疾病予防と健康増進に関する研究 6. 微量元素および温泉成分の生体に及ぼす影響に関する研究</p>	<p>1. Characteristics and treatment of elderly patients with chronic respiratory disorders 2. Epidemiological study on the problems of family practice and home medical care 3. Characteristics and treatment of digestive diseases, lifestyle-related diseases and locomotive syndrome in old age 4. Action mechanism of balneotherapy, thermotherapy, nutritional therapy, exercise therapy and physiotherapy to senile disease 5. Disease prevention and health promotion for the elderly 6. Biological effects of trace elements and dissolved matter in a hot spring</p>	<p>医学 Med.</p>

<p>総合歯科学 Comprehensive Dentistry TEL 086-235-6751 torri@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 鳥井 康弘 Professor TORII, Yasuhiro</p>	<p>1. 歯質接着機能性修復材料の開発と臨床応用に関する研究 2. 歯科保存治療法に関する臨床研究 3. 歯学臨床教育法の開発に関する研究</p>	<p>1. Development and clinical performance of dental adhesive materials 2. Clinical study of dental conservative treatments 3. Development of education in clinical dentistry</p>	<p>歯学 Dent.</p>
<p>予防歯科学 Oral Health TEL 086-235-6710 <a href="http://www.dent.okayama-u.ac.jp/yobou/index_sc_j.html">http://www.dent.okayama-u.ac.jp/yobou/index_sc_j.html</a> mmorita@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 森田 学 Professor MORITA, Manabu</p>	<p>1. 歯科疾患予防の公衆衛生学的研究 2. 歯科疾患と酸化ストレス 3. 歯周病が全身に与える影響 4. 口臭の原因と治療に関する研究 5. 歯科疾患の社会疫学 6. 唾液タンパク質に関する研究 7. 口腔乾燥に関する研究</p>	<p>1. Community dental health 2. Periodontal disease and oxidative stress 3. Effect of periodontal disease on systemic disease 4. Oral malodor management 5. Socioeconomic status and oral disease 6. Biological role of salivary protein 7. Drymouth management</p>	<p>歯学 Dent.</p>

